

**NEC**

**MP-02**

**トラブルシューティングガイド**

3.0 版

Copyright: 2016-2017 NEC Display Solutions, Ltd.

本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一誤り、記載もれなどお気付きの点がありましたらご連絡ください。

Windowsは、米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。

「イーサネット」、「Ethernet」は、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

その他、本通知に登場する会社名、製品名は一般に各社の登録商標または商標です。

# 目次

はじめに .....	5
1. トラブル発生時の確認ポイント .....	6
1.1 ソフトウェアのバージョン確認 .....	6
1.2 オーサリングソフトウェアのプレビューで動画を表示しない .....	6
1.3 無線でルーターに接続できない .....	7
1.4 Wi-Fi 設定タブで接続したいルーターが見えない .....	7
1.5 有線でルーターに接続できない .....	7
1.6 有線で MP-02 に接続できない (Peer to Peer 接続) .....	7
1.7 リモートマネージャーのスケジュールリストに何も表示されない .....	8
1.8 リモートマネージャーの「LAN 接続 PC」でデバイス名を表示しない、表示してもすぐ消える .....	8
1.9 リモートマネージャーの「LAN 接続 PC」で以前は表示していたデバイス名が表示されなくなった .....	8
1.10 リモートマネージャーでエクスポートするとエラーになる .....	8
1.11 MP-02 で再生できない .....	9
1.12 複数の MP-02 で同一スケジュールが同時に切り替わらない (プログラムが同時に切り替わらない) .....	9
1.13 電源ランプが点灯しているのに画面になにも表示されていない .....	9
2. 制限事項 .....	10
2.1 オーサリングソフトウェア .....	10
2.2 MP-02 (リモートマネージャー、メディアプレーヤー) .....	10
3. リモートマネージャーをパソコンに設定する .....	11
3.1 ダウンロードしたリモートマネージャーをインストールする .....	11
3.2 リモートマネージャーのネットワーク通信許可設定について .....	11
3.3 「Windows ファイアウォール」の詳細設定で「リモートマネージャー受信規則」を設定する .....	12
3.4 「Windows ファイアウォール」の詳細設定で「メディアプレーヤー送信規則」を設定する .....	12
4. MP-02 のメディアプレーヤー設定 UI でネットワーク設定する .....	13
4.1 無線 LAN を選択して接続する .....	13
4.2 MP-02 の IP アドレス等設定する .....	14
4.3 MP-02 のデバイス名前とリモートマネージャー IP アドレスを設定する .....	15
5. リモートマネージャーでスケジュールをエクスポート (配信) する .....	16
5.1 スケジュールを選択してエクスポートしたい MP-02 に設定する .....	16
5.2 エクスポートする .....	16

6. ネットワーク設定に関する操作手順.....	17
6.1 「Windows ファイアウォール」を有効にする方法.....	17
6.2 「Windows ファイアウォール」の詳細設定で「RemoteManager」を手動設定する（TCP 編）.....	19
6.3 「Windows ファイアウォール」の詳細設定で「RemoteManager」を手動設定する（UDP 編）.....	24
6.4 「Windows ファイアウォール設定」で受信規則を手動追加する.....	29
6.5 「Windows ファイアウォール設定」で送信規則を手動追加する.....	32
6.6 リモートマネージャーPCのIPアドレス、MACアドレス（物理アドレス）を確認する方法.....	35
6.7 リモートマネージャーPCから同一ネットワークMP-02のMACアドレスを確認する方法.....	36
6.8 同一ネットワークのMP-02の登録名表示例.....	36
6.9 リモートマネージャーの設定情報を作り直す.....	37
6.10 ping コマンドでネットワーク接続確認をする方法.....	37
6.11 USB 有線 LAN とリモートマネージャーPCをLANケーブルで直接接続してエクスポート.....	38
6.12 「アクティブなネットワーク表示」の「パブリック」を「プライベート」へ変更する方法.....	43
6.13 「アクティブなネットワーク表示」の「パブリック」を「プライベート」へ変更する方法(Windows 8.1 / 10 編)	45
6.14 DHCP 設定（自動設定）時のIPアドレスを確認する方法.....	45
6.15 ローカルPCにNTPサーバーを構築してメディアプレーヤーに設定する.....	46
7. MP-02が表示するメッセージ.....	53

## はじめに

### 本書について

本書では、MP-02 のネットワーク設定に関する操作方法やネットワーク設定に役立つ操作方法などを説明しています。

#### 各章の概要説明

- ・ 1 章ではトラブルシューティングに関する情報を説明しています。
- ・ 2 章ではオーサリングソフトウェア、リモートマネージャー、メディアプレーヤーの制限事項を説明しています。  
以降はトラブルを解決するための関連操作手順を説明しています。
- ・ 3～5 章ではオーサリングソフトウェアで作成したスケジュールを MP-02 へネットワーク配信するための設定手順を説明しています。
- ・ 6 章ではネットワーク設定に関する情報を説明しています。
- ・ 7 章では MP-02 が表示するメッセージの一覧と表示する条件と表示を回避するための確認内容を説明しています。

### 改版履歴

版数	変更内容	変更箇所
1.0	新規作成	-
2.0	ローカルに NTP サーバー構築方法追加	6.15 を追加
	RemoteManager 手動設定 UDP 編の詳細説明を追加	6.3 を変更
3.0	MP-02 が表示するメッセージを追加	7 を変更
	トラブル発生時の確認ポイントを追加	1.13 を追加

## 1. トラブル発生時の確認ポイント

発生したトラブルを解決するための確認ポイントを現象ごとに説明します。

### 1.1 ソフトウェアのバージョン確認

オーサリングソフトウェア、リモートマネージャー、メディアプレーヤーが最新バージョンになっているか確認してください。

→最新のソフトウェアは以下のサイトからダウンロードすることができます。

<http://www.nec-display.com/dl/jp/dp/mp02/index.html>

インストールの際は Administrator 権限のあるアカウントで実施してください。

→インストーラーを起動すると以下の「ユーザーアカウント制御」を表示します。「はい」を選択してインストールしてください。

表示しない場合はインストーラーを右クリックで「管理者として実行」を選択して実行してください。

オーサリングソフトウェアの場合



リモートマネージャーの場合



### 1.2 オーサリングソフトウェアのプレビューで動画を表示しない

オーサリングソフトウェアが正しくインストールされていないと本現象が発生します。Administrator 権限のあるアカウントで再インストールを行ってください。

正しくインストールされると、オーサリングソフトウェア起動時に以下の「ユーザーアカウント制御」を表示します。

→「はい」を選択して起動してください



### 1.3 無線でルーターに接続できない

- ① ルーターのネットワーク名 (SSID) を確認する。SSID が 32 文字以上、または半角英数字以外の文字を使用している場合は SSID 文字数を 31 文字以下にする、および半角英数字で設定する必要があります。  
→ルーターの設定ツールで SSID を変更してください。  
ルーターの設定ツール操作方法是ご使用のルーター取扱説明書等を参照してください。
- ② ルーターが MAC アドレスフィルタリング設定を使う設定になっていないか確認する。  
→ルーターの設定ツールで登録したい MP-02 やパソコンの MAC アドレスを登録します。MAC アドレスフィルタリング機能を使わない場合は無効にします。  
ルーターの設定ツール操作方法是ご使用のルーター取扱説明書等を参照してください。  
MAC アドレスを確認する方法は以下を参照してください。  
[リモートマネージャーPCのIPアドレス、MACアドレス（物理アドレス）を確認する方法](#)  
[リモートマネージャーPCから同一ネットワークMP-02のMACアドレスを確認する方法](#)
- ③ ルーターが使用している無線チャンネルを手動で変更する。  
有線で接続できるが無線で接続できない、無線接続が途切れる場合に無線ルーターが使用しているチャンネルを変更することで回避できる場合があります。無線ルーターが使用する周波数帯 (2.4GHz 帯) に影響を与える機器 (電子レンジ、ワイヤレスマウス、Bluetooth 機器など) からの電波干渉回避に有効です。  
→ルーターの設定ツールで使用する無線チャンネルを変更します。  
ルーターの設定ツール操作方法是ご使用のルーター取扱説明書等を参照してください。
- ④ ルーターの設置場所を変える。  
無線ルーターの電波が飛びやすい環境に設置することで改善が期待できます。  
→室内中央に設置する、MP-02 の近くに設置する、など。  
USB 有線 LAN アダプターを追加して有線 LAN 環境を構築してネットワーク配信する方法もあります。

### 1.4 Wi-Fi 設定タブで接続したいルーターが見えない

- ① ルーターの設定でステルス機能 (または ANY 接続拒否) が有効になっていないか確認する。  
→ルーターの設定ツールで機能を無効にすることで表示させることができます。  
ルーターの設定ツール操作方法是ご使用のルーター取扱説明書等を参照してください。

### 1.5 有線でルーターに接続できない

- ① LAN ケーブル外れがないか確認します。
- ② リモートマネージャーPC、およびメディアプレーヤーのネットワーク設定で同一ネットワーク設定 (同一セグメント設定) になっているか確認します。(特に手動設定で各アドレスを設定している場合)
- ③ ネットワーク設定確認が完了したら、リモートマネージャーPC からルーターや MP-02 から ping の応答が返ってくるか確認します。  
→確認方法は以下を参照してください。  
[ping コマンドでネットワーク接続確認をする方法](#)

### 1.6 有線で MP-02 に接続できない (Peer to Peer 接続)

- ① LAN ケーブル外れがないか確認します。
- ② ネットワーク設定を確認します。  
Peer to Peer 接続の場合、手動でリモートマネージャーPC、および MP-02 の IP アドレスを設定する必要があります。  
→設定方法は以下を参照してください。  
[USB 有線 LAN とリモートマネージャーPCをLANケーブルで直接接続してエクスポート](#)

## 1.7 リモートマネージャーのスケジュールリストに何も表示されない

スケジュール保存先を確認します

- ① オーサリングソフトウェアを起動する
- ② 「ファイル」>「設定」>「スケジュール位置」で保存先を確認する
- ③ リモートマネージャーを起動する
- ④ 「ファイル」>「開く」で手順②で確認した保存先を指定する

## 1.8 リモートマネージャーの「LAN 接続 PC」でデバイス名を表示しない、表示してもすぐ消える

リモートマネージャーPCのファイアウォール設定を確認します

- ① リモートマネージャーのインストール手順で設定に漏れがないか確認する

[リモートマネージャーをパソコンに設定する](#)

Windows ファイアウォールの設定が有効の場合、手動で「受信の規則」「送信の規則」の追加設定されていないと本トラブルが発生する場合があります。設定が完了しているかどうか確認してください。

- ② メディアプレーヤーの設定に漏れがないか確認する

[MP-02 のメディアプレーヤー設定 UI でネットワーク設定する](#)

## 1.9 リモートマネージャーの「LAN 接続 PC」で以前は表示していたデバイス名が表示されなくなった

リモートマネージャーPCのファイアウォール設定を確認します

- ① リモートマネージャーのインストール手順で設定に漏れがないか確認する

[リモートマネージャーをパソコンに設定する](#)

Windows ファイアウォールの設定が有効の場合、手動で「受信の規則」「送信の規則」の追加設定されていないと本トラブルが発生する場合があります。設定が完了しているかどうか確認してください。

- ② メディアプレーヤーの設定に漏れがないか確認する

[MP-02 のメディアプレーヤー設定 UI でネットワーク設定する](#)

- ③ ルーターに接続できているか確認する

- ④ メディアプレーヤーの設定メニューでリモートマネージャーの IP アドレスを再登録する

ここまでの確認手順で回避されない場合は以下を試してください。この操作をした場合、メディアプレーヤー側でリモートマネージャーの IP アドレス登録が再度必要になりますのでもれなく設定してください。

- ⑤ リモートマネージャー側の設定ファイルを作り直す

以下を参照してください。

[リモートマネージャーの設定情報を作り直す](#)

## 1.10 リモートマネージャーでエクスポートするとエラーになる

作成したスケジュールの総ファイル数が 151 個以上の場合、エクスポートに失敗することがあります。

再エクスポートしても再現する場合は、オーサリングソフトウェアでエクスポートに失敗するスケジュールのプログラムに設定されているメディア数を編集して（減らして）エクスポートできるか確認してください。

### 1.11 MP-02 で再生できない

MP-02 の日時設定が不正の場合、作成したスケジュールで再生せず「黒画面（何も表示しない）」や「スケジュールがありません。メモリーカードを確認してください。」を表示する場合があります。MP-02 の日時設定の確認、および作成したスケジュール内容を確認します。

（参考：MP-02 が表示するメッセージについては、[MP-02 が全画面表示するメッセージ](#) で表示条件などを説明しています）

- ① 「設定メニュー」>「日時の設定」をクリック
- ② 日付と時間が正しくない場合は手動で値を変更、または NTP サーバーを選択（※NTP サーバーに同期できる環境が必要です）して「OK」をクリック

→設定した情報を有効にするためメディアプレーヤーが自動的に再起動します。

「設定メニュー」>「日時の設定」で日付と時間が正しいか確認する。

続けて、作成したスケジュールデータが再生できる日付・時間に設定されているかどうか確認します。

作成したスケジュールデータをオーサリングソフトウェアで開いて以下を確認します。

- ③ プログラム時間長に対してサブウィンドウ時間長内にメディアデータが設定されているかどうか
- ④ 予定表に設定したプログラムが再生したい時間帯に設定されているかどうか
- ⑤ 設定した予定表が再生したい日付に設定されているかどうか

→詳しい操作手順についてはオーサリングソフトウェアのヘルプを参照してください。

### 1.12 複数の MP-02 で同一スケジュールが同時に切り替わらない（プログラムが同時に切り替わらない）

複数の MP-02 での同期再生はサポートしていません。

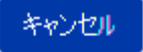
### 1.13 電源ランプが点灯しているのに画面になにも表示されていない

- ① 番組が表示される時間かどうか確認してください。
- ② マウスを使ってダブルクリックで MP-02 の設定メニュー画面を表示し、MP-02 本体の時間設定が正しいかどうか確認してください。  
時間が正しければ「システムのシャットダウン」を選択して、シャットダウン後に電源を入れなおしてください。  
設定メニュー画面が表示されない場合は、電源ボタンを電源ランプが消えるまで長押ししてください。（約 10 秒）  
もし電源ランプが消えなかったときは AC アダプターを抜き差しして電源を入れなおしてください。

## 2. 制限事項

### 2.1 オーサリングソフトウェア

- ビデオウィンドウの積み重ね順序を変更することはできません。ビデオウィンドウは常に最背面で再生されます。
- 作業可能な最小解像度は 800×600 です。推奨解像度は 1366×768 です。システムによっては、高解像度の画像を表示できません。
- 【プレビュー】サブ画面を開いたままウィンドウのサイズを変更すると、【プレビュー】サブ画面が閉じます。
- 高いフレームレートの動画ファイルを使用した場合、動画再生に乱れが生じることがあります。動画のフレームレートは 30 フレーム以下を推奨します。
- ボタンの色は以下のように変化します。

ボタンの色	説明
	選択されているときのボタンの色
	選択されていないときのボタンの色
	マウスがボタンに重なっているときの色。

- 同時に配置できるメディアファイルの数は（音声ファイルを除き）5 個です。音声ファイルを 1 個含める場合には、メディアファイルが 6 個まで配置することができます。
- 動画ファイルは最大 1 個また音声ファイルは最大 1 個配置することができます。動画ファイルと音声ファイルは排他で配置することができます。
- テロップは最大 2 個配置することができます。
- 画像は最大 5 個配置することができます。

### 2.2 MP-02（リモートマネージャー、メディアプレーヤー）

- 無線ルーターにネットワーク接続する場合、ルーターのネットワーク名（SSID）の文字数は 31 文字以下としてください。また使用する文字は半角英数文字で設定してください。
- 表示されるメディアのウィンドウサイズは変更できません。オーサリングソフトウェアで設定してください。
- メディアプレーヤーでは、オーサリングソフトウェアで作成されたメディアパッケージ（スケジュールパッケージ）のチャンネル 1 のみ使用できます。
- MP-02 デバイスでメディアを再生するにはメディアパッケージ（スケジュールパッケージ）の保存されたメモリーカードが必要です。
- メディアパッケージ（スケジュールパッケージ）の破損などの問題があると、メディアプレーヤーで再生することができません。ログで詳細を確認することができます。ログの詳細は「取扱説明書 MP-02」の「5.2 ログの表示」を参照してください（取扱説明書はリモートマネージャーの「ファイル」>「ヘルプ」から参照できます）。
- 配信に利用するリモートマネージャーをインストールしたパソコンは、MP-02 と同一ネットワーク上で一台にしてください。

### 3. リモートマネージャーをパソコンに設定する

#### 3.1 ダウンロードしたリモートマネージャーをインストールする



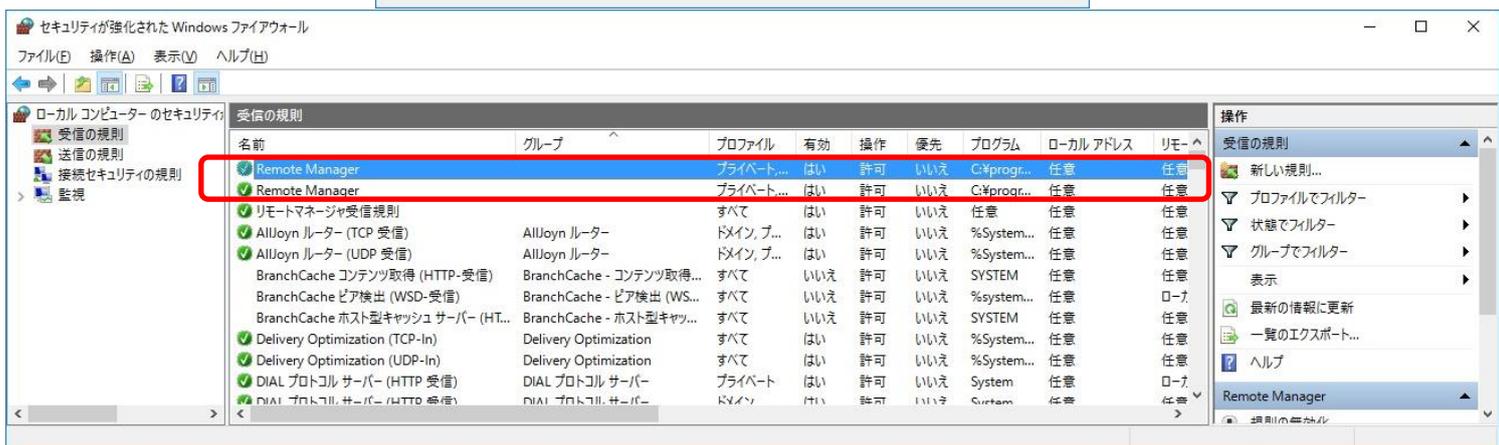
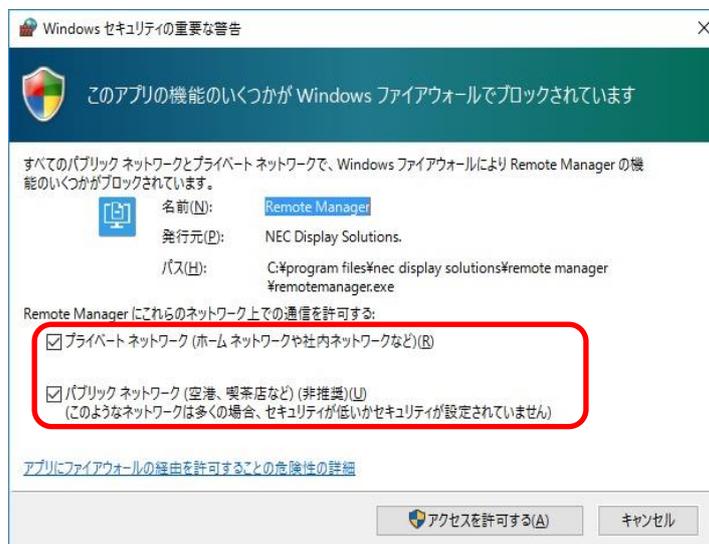
- ・ Administrator 権限のあるアカウントでインストールしてください。
- ・ 「Windows ファイアウォール」 が無効設定されている場合、項 1.2.の「Windows セキュリティの重要な警告」を表示しない場合があります。
- ・ 再インストールした場合、設定情報が初期化されるためメディアプレーヤー設定メニューのリモートマネージャー設定を再度、行う必要があります。

#### 3.2 リモートマネージャーのネットワーク通信許可設定について

リモートマネージャーインストール完了後にリモートマネージャーが自動起動します。インストールするパソコンのファイアウォールが有効設定されている場合、以下の「Windows セキュリティの重要な警告」を続けて表示します。

「プライベート ネットワーク、パブリック ネットワーク」をチェックして「アクセスを許可する」をクリックしてください。

→ 「セキュリティが強化された Windows ファイアウォール」の受信規則に「RemoteManager」が追加されます。



「Windows ファイアウォール」の詳細設定 > 受信の規則で内容確認・変更可能です。

- ・ 「Windows ファイアウォール」 が無効設定されている場合、本ポップアップを表示しない場合があります  
→ その場合は「Windows ファイアウォール」を有効にしてからリモートマネージャーを再インストールするか、手動で受信規則を追加してください。

「Windows セキュリティの重要な警告」が表示されない時はリンク先を参照して手動設定可能です。

[「Windows ファイアウォール」の詳細設定で「RemoteManager」を手動設定する \(TCP 編\)](#)

[「Windows ファイアウォール」の詳細設定で「RemoteManager」を手動設定する \(UDP 編\)](#)

### 3.3 「Windows ファイアウォール」の詳細設定で「リモートマネージャー受信規則」を設定する

設定方法はリンク先を参照ください。



### 3.4 「Windows ファイアウォール」の詳細設定で「メディアプレーヤー送信規則」を設定する

設定方法はリンク先を参照ください。



## 4. MP-02 のメディアプレーヤー設定 UI でネットワーク設定する

### 4.1 無線 LAN を選択して接続する

MP-02 メディアプレーヤー

設定メニュー

- ネットワーク設定
- ログの表示
- 初期化する
- 日付の設定
- アップデートをチェックする
- システムの再起動
- システムのシャットダウン

ネットワーク設定

Wi-Fi設定 | IP設定 | リモートマネージャー設定

Wi-Fiの状態  入

Router\_1

Router\_1

パスワード

自動接続

接続 キャンセル

- ① 設定 UI を表示させ「ネットワーク設定 > Wi-Fi 設定」を選択する
- ② 接続したいルーターをダブルクリック
- ③ 「パスワード」を入力して、「自動接続」にチェックを入れて「接続」をクリック

MP-02 メディアプレーヤー

設定メニュー

- ネットワーク設定
- ログの表示
- 初期化する
- 日付の設定
- アップデートをチェックする
- システムの再起動
- システムのシャットダウン

ネットワーク設定

Wi-Fi設定 | IP設定 | リモートマネージャー設定

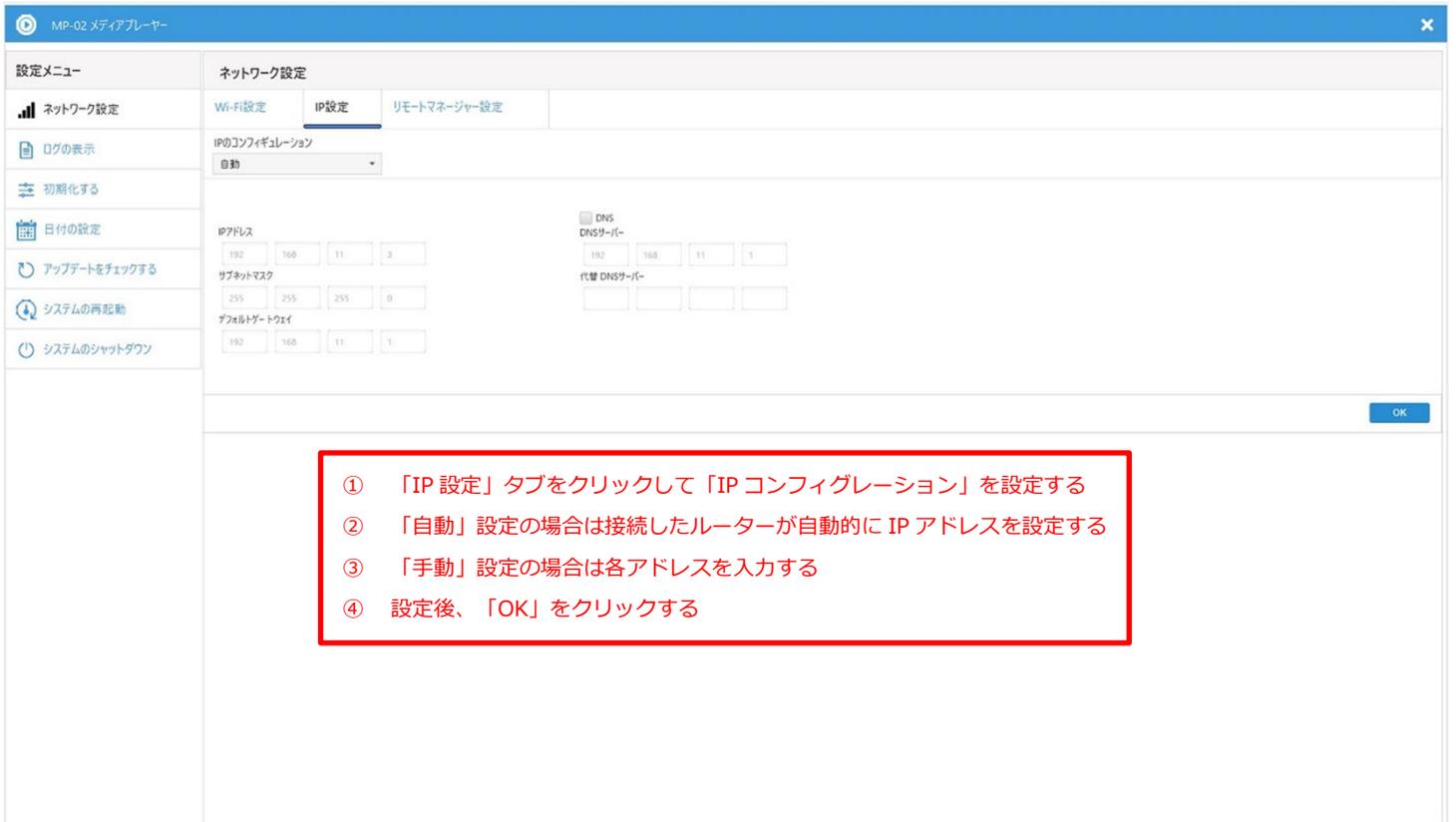
Wi-Fiの状態  入

Router\_1 接続

接続に成功すると接続したルーター名の横に「接続」を表示する

## 4.2 MP-02 の IP アドレス等設定する

IP のコンフィグレーションが自動の場合はルーターが割り当てた各アドレスを表示します。



① 「IP 設定」タブをクリックして「IP コンフィグレーション」を設定する

② 「自動」設定の場合は接続したルーターが自動的に IP アドレスを設定する

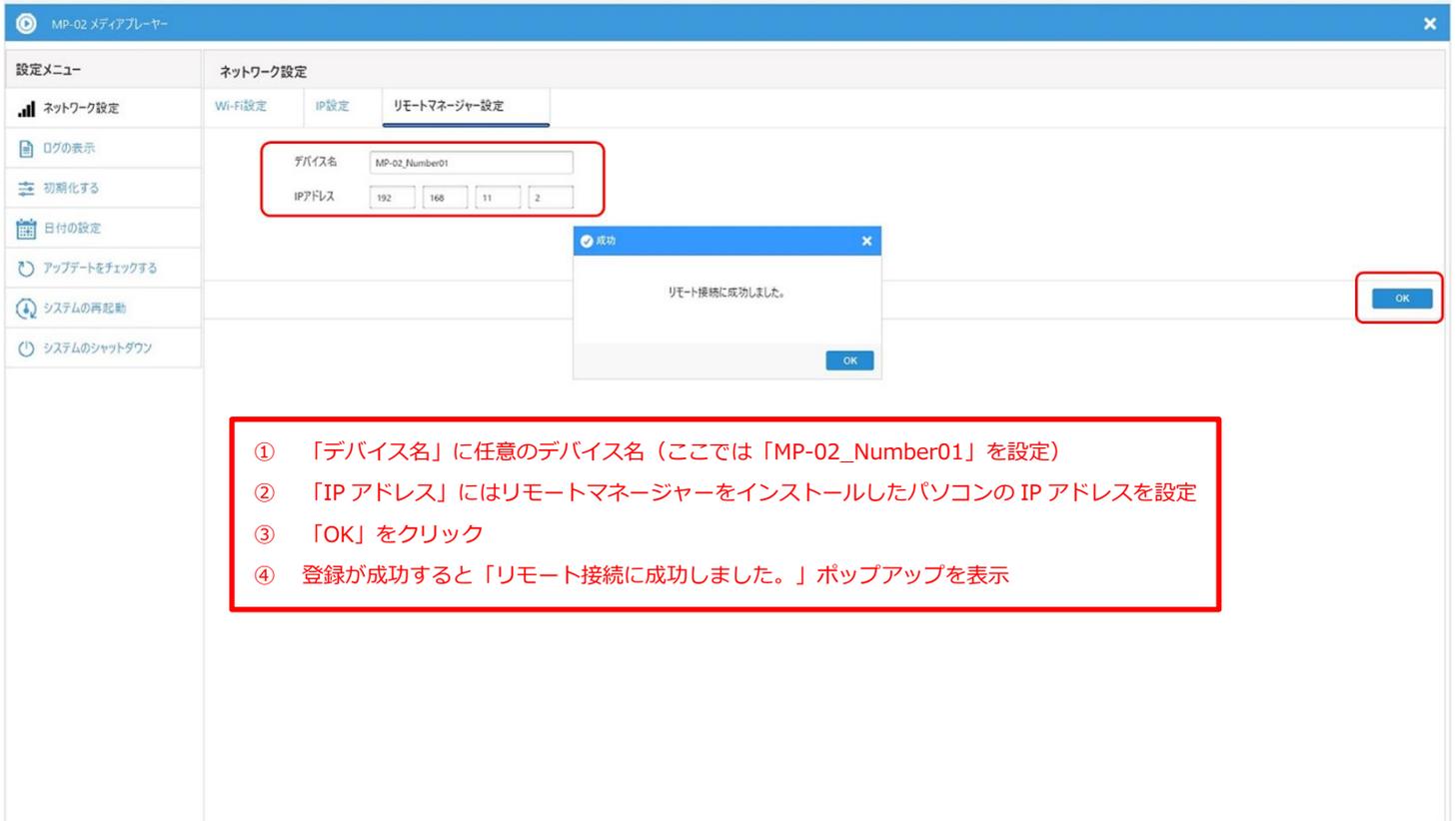
③ 「手動」設定の場合は各アドレスを入力する

④ 設定後、「OK」をクリックする

### 4.3 MP-02 のデバイス名前とリモートマネージャーIP アドレスを設定する

リモートマネージャーをインストールしたパソコンの IP アドレスを確認するには [リモートマネージャーPC の IP アドレス、MAC アドレス（物理アドレス）を確認する方法](#) を参照してください。

リモートマネージャーをインストールしたパソコンに接続が成功した場合は、リモートマネージャーの「LAN」タブ > 「LAN 接続 PC」に MP-02 デバイス名を表示します



① 「デバイス名」に任意のデバイス名（ここでは「MP-02\_Number01」を設定）

② 「IP アドレス」にはリモートマネージャーをインストールしたパソコンの IP アドレスを設定

③ 「OK」をクリック

④ 登録が成功すると「リモート接続に成功しました。」ポップアップを表示



リモートマネージャーをインストールしたパソコンに接続できない場合は上記エラーポップアップを表示するエラー発生を回避するにはネットワークに接続している MP-02、リモートマネージャーをインストールしたパソコンのファイアウォール設定、IP アドレスを確認する

確認方法は以下を参照してください。

[Windows ファイアウォール設定\\_受信規則](#)

[Windows ファイアウォール設定\\_送信規則](#)

## 5. リモートマネージャーでスケジュールをエクスポート（配信）する

### 5.1 スケジュールを選択してエクスポートしたい MP-02 に設定する

The screenshot shows the Remote Manager interface. At the top, there are buttons for 'LANでエクスポート' and '予約'. A red box highlights the instruction: 「スケジュールメディアファイル」のスケジュールを「LAN 接続 PC」の MP-02 にドラッグする. Below this, the 'スケジュールメディアファイル' section shows 'スケジュール-サンプル' selected. The 'LAN接続PC' section shows two devices: 'MP-02\_Number01' and 'MP-02\_Number02'. A red box highlights the 'スケジュール-サンプル' button next to 'MP-02\_Number02'. On the right, the 'デバイスプロパティ' section shows details for 'MP-02\_Number02', including IP address (192.168.11.4) and free space (1.69 GB). Below that, the 'デバイス予約' section shows the schedule name 'スケジュール-サンプル' and capacity '4.02 MB'. At the bottom right, there is a 'スケジュールをエクスポート' button.

### 5.2 エクスポートする

The screenshot shows the Remote Manager interface after the export process. A red box highlights the instruction: 「スケジュールをエクスポート」をクリックするとそれぞれの MP-02 へエクスポートを開始する. Below this, the 'スケジュールメディアファイル' section shows 'スケジュール-サンプル' selected. The 'LAN接続PC' section shows two devices: 'MP-02\_Number01' and 'MP-02\_Number02'. A red box highlights the 'スケジュール-サンプル' button next to 'MP-02\_Number02', which now has a green checkmark icon. At the bottom left, a message box states: MP-02\_Number02のスケジュールは正常にエクスポートできました。 At the bottom right, there is a 'スケジュールをエクスポート' button.

## 6. ネットワーク設定に関する操作手順

### 6.1 「Windows ファイアウォール」を有効にする方法

本機能が有効設定されていない場合、リモートマネージャーインストール直後の Windows ファイアウォール設定ポップアップを表示しない場合があります。

設定を変更するには以下の手順で行います。

※企業内でご使用の場合、意図してファイアウォール設定を無効化して運用されている場合は、他の通信を行うアプリケーション動作に影響することが考えられるため関連するアプリケーションがないか、パソコン管理者やネットワーク管理者に確認してから行ってください。

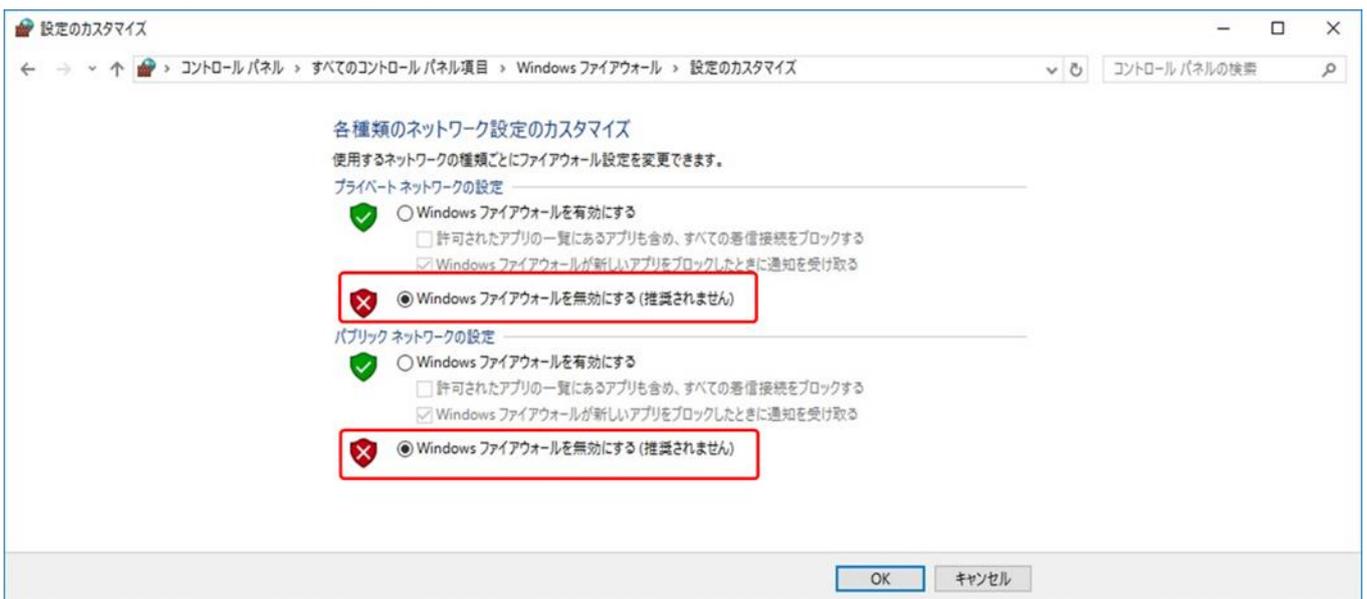
なお、操作は Administrator 権限のあるアカウントで行ってください。

① コントロールパネル > すべてのコントロールパネル項目 > Windows ファイアウォール



- ・ファイアウォール設定が無効になっている状態
- ・「Windows ファイアウォールの有効化または無効化」をクリック

② Windows ファイアウォールの設定を確認する



## ③ Windows ファイアウォールを有効設定する



- ・各「Windows ファイアウォールを有効にする」ラジオボタンをクリックする
- ・「OK」をクリックする

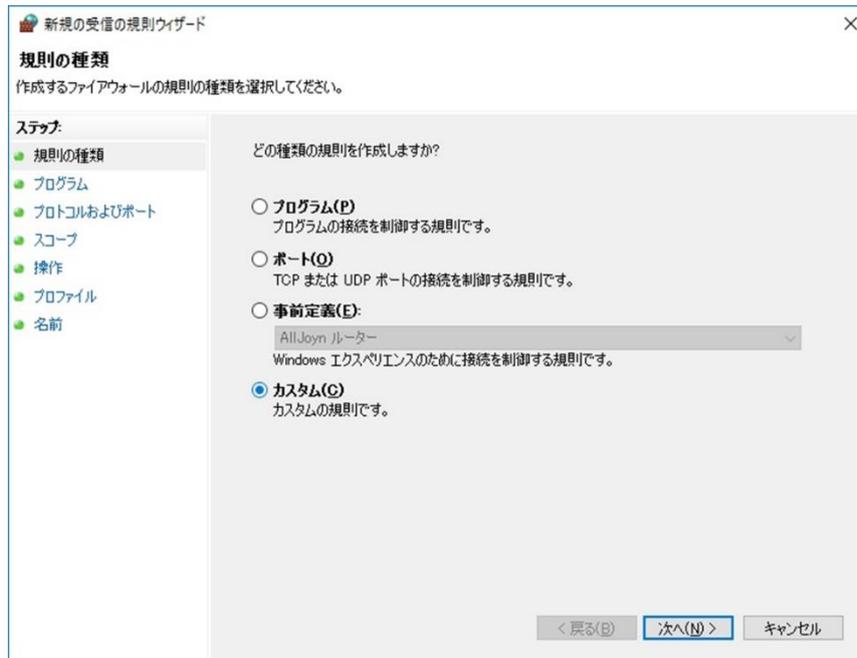


## 6.2 「Windows ファイアウォール」の詳細設定で「RemoteManager」を手動設定する（TCP 編）

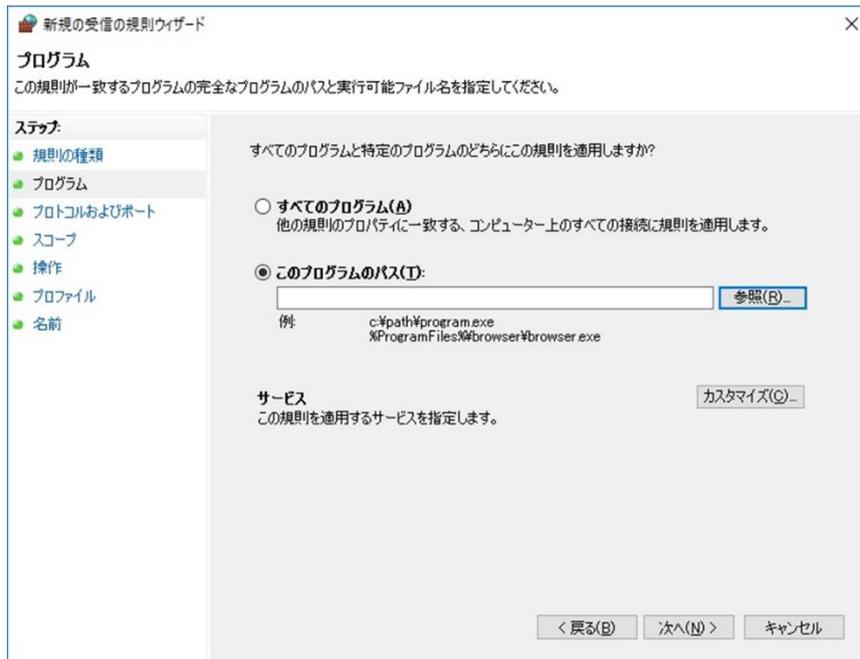
- ① コントロールパネル > すべてのコントロールパネル > Windows ファイアウォール > 詳細設定
- ② コンソールツリーの「受信の規則」をクリック
- ③ 操作 > 新しい規則 を選択して「新規の受信の規則ウィザード」で受信の規則を追加する



- ④ 「カスタム」を選択して「次へ」をクリック

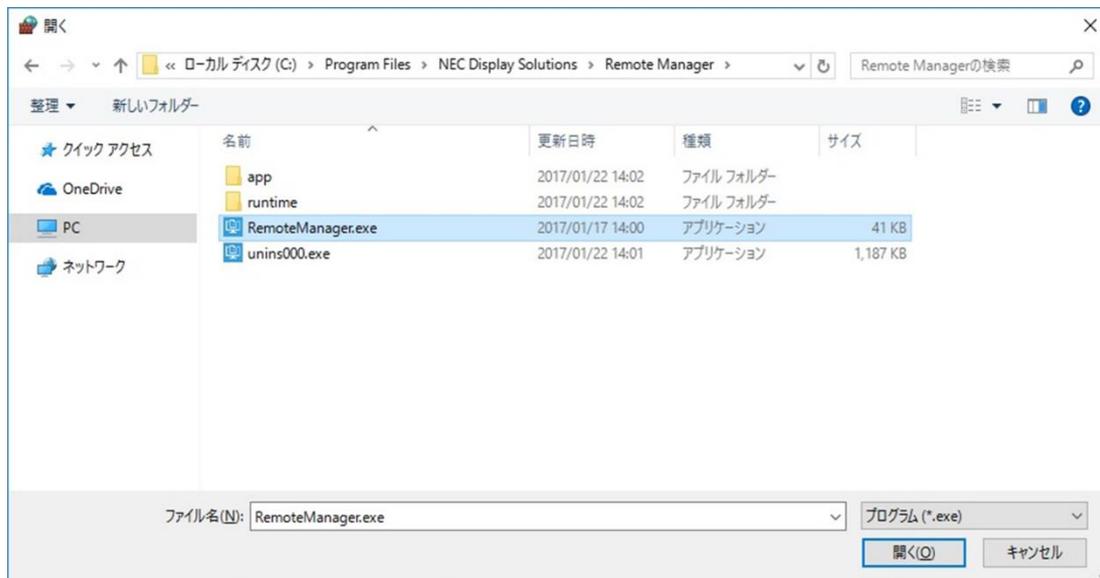


## ⑤ 「このプログラムのパス」を選択して、「参照」をクリック



## a. 「開く」で「RemoteManager.exe」を選択

- ・ 32bit OS の場合「C%:Program Files%NEC Display Solutions%Remote Manager」配下の「RemoteManager.exe」を選択
- ・ 64bit OS の場合「C%:Program Files (x86)%NEC Display Solutions%Remote Manager」配下の「RemoteManager.exe」を選択



## b. 「次へ」をクリック

新規の受信の規則ウィザード

**プログラム**  
この規則が一致するプログラムの完全なプログラムのパスと実行可能ファイル名を指定してください。

**ステップ:**

- 規則の種類
- プログラム
- プロトコルおよびポート
- スコープ
- 操作
- プロファイル
- 名前

すべてのプログラムと特定のプログラムのどちらにこの規則を適用しますか?

すべてのプログラム(A)  
他の規則のプロパティに一致する、コンピューター上のすべての接続に規則を適用します。

このプログラムのパス(I):  
   
 例 c:\path\program.exe  
       %ProgramFiles%\browser\browser.exe

**サービス**  
この規則を適用するサービスを指定します。

## ⑥ 「プロトコルの種類」で「TCP」を選択して「次へ」をクリック

新規の受信の規則ウィザード

**プロトコルおよびポート**  
この規則を適用するプロトコルとポートを指定してください。

**ステップ:**

- 規則の種類
- プログラム
- プロトコルおよびポート
- スコープ
- 操作
- プロファイル
- 名前

この規則を適用するポートとプロトコルを選択してください

プロトコルの種類(P):    
 プロトコル番号(N):

ローカル ポート(L):    
 例: 80, 443, 5000-5010

リモート ポート(R):    
 例: 80, 443, 5000-5010

インターネット制御メッセージ プロトコル (ICMP) の設定:

- ⑦ 「この規則を適用するローカル IP アドレス を選択してください」と「この規則を適用するリモート IP アドレスを選択してください」で「任意の IP アドレス」を選択して「次へ」をクリック

新規の受信の規則ウィザード

**スコープ**  
この規則を適用するローカル IP アドレスとリモート IP アドレスを指定してください。

**ステップ:**

- 規則の種類
- プログラム
- プロトコルおよびポート
- **スコープ**
- 操作
- プロファイル
- 名前

**この規則を適用するローカル IP アドレスを選択してください。**

任意の IP アドレス(P)

これらの IP アドレス(I):

[Empty text box]

追加(A)...  
編集(E)...  
削除(R)

この規則を適用するインターフェイスの種類のカスタマイズ: カスタマイズ(U)...

**この規則を適用するリモート IP アドレスを選択してください。**

任意の IP アドレス(Y)

これらの IP アドレス(H):

[Empty text box]

追加(D)...  
編集(J)...  
削除(M)

< 戻る(B)   **次へ(N) >**   キャンセル

- ⑧ 「接続を許可する」を選択して「次へ」をクリック

新規の受信の規則ウィザード

**操作**  
規則で指定された条件を接続が満たす場合に、実行される操作を指定します。

**ステップ:**

- 規則の種類
- プログラム
- プロトコルおよびポート
- スコープ
- **操作**
- プロファイル
- 名前

接続が指定の条件に一致した場合に、どの操作を実行しますか?

**接続を許可する(A)**  
IPsec を使用して保護された接続と保護されていない接続の両方を含みます。

**セキュリティで保護されている場合のみ接続を許可する(C)**  
IPsec を使用して認証された接続のみを含みます。接続は、IPsec プロパティ内の設定と接続セキュリティ規則ノード内の規則を使用して、セキュリティ保護されます。

カスタマイズ(Z)...

**接続をブロックする(K)**

< 戻る(B)   **次へ(N) >**   キャンセル

## ⑨ 「プライベート」と「パブリック」にチェックを入れて「次へ」をクリック

新規の受信の規則ウィザード

**プロフィール**  
この規則が適用されるプロフィールを指定してください。

ステップ:

- 規則の種類
- プログラム
- プロトコルおよびポート
- スコープ
- 操作
- プロファイル
- 名前

この規則はいつ適用しますか?

**ドメイン(D)**  
コンピューターがその企業ドメインに接続しているときに適用されます。

**プライベート(P)**  
コンピューターが自宅や職場などのプライベート ネットワークに接続しているときに適用されます。

**パブリック(U)**  
コンピューターがパブリック ネットワークに接続しているときに適用されます。

< 戻る(B)   **次へ(N) >**   キャンセル

## ⑩ 「名前」に「RemoteManager」を入力して「完了」をクリック

新規の受信の規則ウィザード

**名前**  
この規則の名前と説明を指定してください。

ステップ:

- 規則の種類
- プログラム
- プロトコルおよびポート
- スコープ
- 操作
- プロファイル
- 名前

名前(N):  
RemoteManager

説明 (オプション)(O):

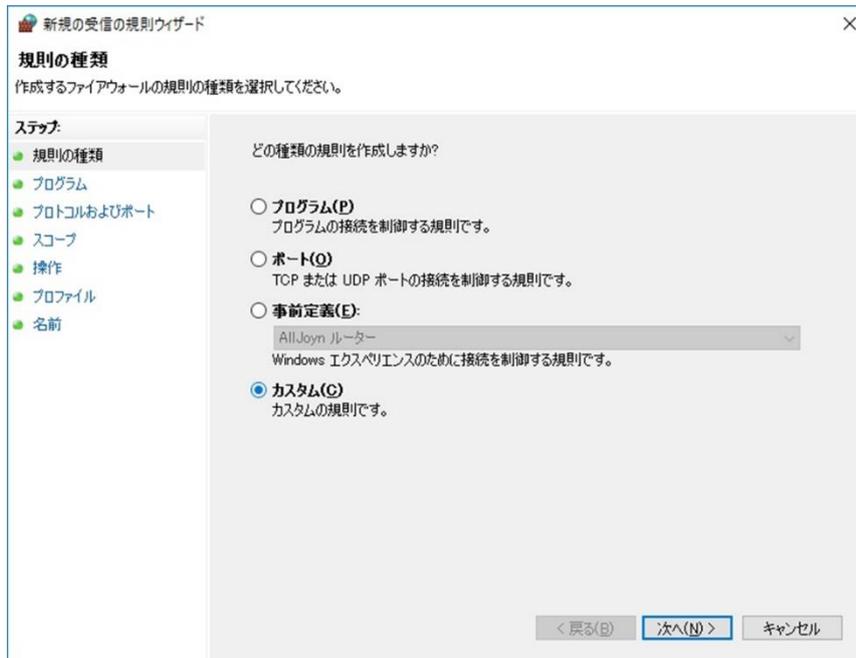
< 戻る(B)   **完了(F)**   キャンセル

## 6.3 「Windows ファイアウォール」の詳細設定で「RemoteManager」を手動設定する（UDP 編）

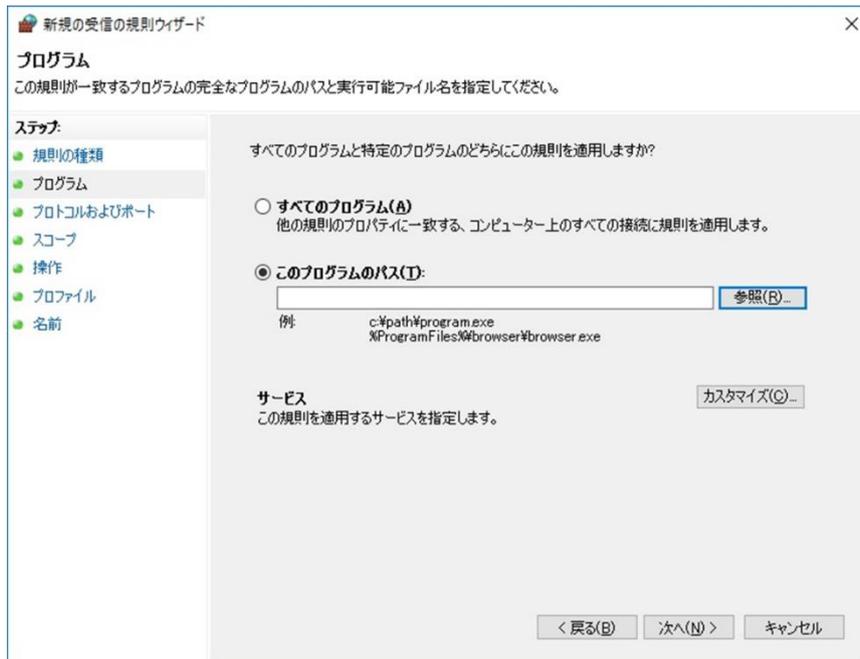
- ① コントロールパネル > すべてのコントロールパネル > Windows ファイアウォール > 詳細設定
- ② コンソールツリーの「受信の規則」をクリック
- ③ 操作 > 新しい規則 を選択して「新規の受信の規則ウィザード」で受信の規則を追加する



- ④ 「カスタム」を選択して「次へ」をクリック

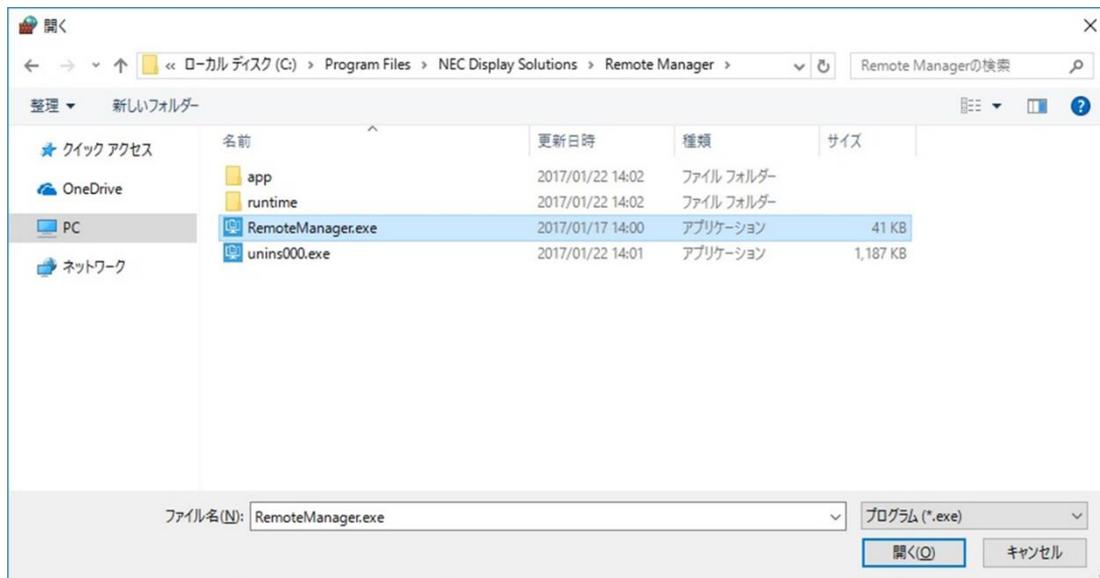


## ⑤ 「このプログラムのパス」を選択して、「参照」をクリック



## a. 「開く」で「RemoteManager.exe」を選択

- ・ 32bit OS の場合「C%:Program Files%NEC Display Solutions%Remote Manager」配下の「RemoteManager.exe」を選択
- ・ 64bit OS の場合「C%:Program Files (x86)%NEC Display Solutions%Remote Manager」配下の「RemoteManager.exe」を選択



## b. 「次へ」をクリック

新規の受信の規則ウィザード

**プログラム**  
この規則が一致するプログラムの完全なプログラムのパスと実行可能ファイル名を指定してください。

**ステップ:**

- 規則の種類
- プログラム
- プロトコルおよびポート
- スコープ
- 操作
- プロファイル
- 名前

すべてのプログラムと特定のプログラムのどちらにこの規則を適用しますか?

すべてのプログラム(A)  
他の規則のプロパティに一致する、コンピューター上のすべての接続に規則を適用します。

このプログラムのパス(D):  
%ProgramFiles%\NEC Display Solutions\Remote Manager\RemoteMar

例  
c:\path\program.exe  
%ProgramFiles%\browser\browser.exe

**サービス**  
この規則を適用するサービスを指定します。

< 戻る(B)    次へ(N) >    キャンセル

## ⑥ 「プロトコルの種類」で「UDP」を選択して「次へ」をクリック

新規の受信の規則ウィザード

**プロトコルおよびポート**  
この規則を適用するポートとプロトコルを指定してください。

**ステップ:**

- 規則の種類
- プログラム
- プロトコルおよびポート
- スコープ
- 操作
- プロファイル
- 名前

この規則を適用するポートとプロトコルを選択してください

プロトコルの種類(P): UDP

プロトコル番号(N): 17

ローカルポート(L): すべてのポート

リモートポート(R): すべてのポート

例: 80, 443, 5000-5010

インターネット制御メッセージ プロトコル (ICMP) の設定:

< 戻る(B)    次へ(N) >    キャンセル

- ⑦ 「この規則を適用するローカル IP アドレス を選択してください」と「この規則を適用するリモート IP アドレスを選択してください」で「任意の IP アドレス」を選択して「次へ」をクリック

新規の受信の規則ウィザード

**スコープ**  
この規則を適用するローカル IP アドレスとリモート IP アドレスを指定してください。

**ステップ:**

- 規則の種類
- プログラム
- プロトコルおよびポート
- **スコープ**
- 操作
- プロファイル
- 名前

**この規則を適用するローカル IP アドレスを選択してください。**

任意の IP アドレス(P)

これらの IP アドレス(I):

追加(A)...  
編集(E)...  
削除(R)...  
カスタマイズ(U)...

この規則を適用するインターフェイスの種類のカスタマイズ:

**この規則を適用するリモート IP アドレスを選択してください。**

任意の IP アドレス(Y)

これらの IP アドレス(H):

追加(D)...  
編集(J)...  
削除(M)...

< 戻る(B)    **次へ(N) >**    キャンセル

- ⑧ 「接続を許可する」を選択して「次へ」をクリック

新規の受信の規則ウィザード

**操作**  
規則で指定された条件を接続が満たす場合に、実行される操作を指定します。

**ステップ:**

- 規則の種類
- プログラム
- プロトコルおよびポート
- スコープ
- **操作**
- プロファイル
- 名前

接続が指定の条件に一致した場合に、どの操作を実行しますか?

**接続を許可する(A)**  
IPsec を使用して保護された接続と保護されていない接続の両方を含みます。

**セキュリティで保護されている場合のみ接続を許可する(C)**  
IPsec を使用して認証された接続のみを含みます。接続は、IPsec プロパティ内の設定と接続セキュリティ規則ノード内の規則を使用して、セキュリティ保護されます。

カスタマイズ(Z)...

**接続をブロックする(K)**

< 戻る(B)    **次へ(N) >**    キャンセル

## ⑨ 「プライベート」と「パブリック」にチェックを入れて「次へ」をクリック

新規の受信の規則ウィザード

**プロフィール**  
この規則が適用されるプロフィールを指定してください。

ステップ:

- 規則の種類
- プログラム
- プロトコルおよびポート
- スコープ
- 操作
- プロファイル
- 名前

この規則はいつ適用しますか?

**ドメイン(D)**  
コンピューターがその企業ドメインに接続しているときに適用されます。

**プライベート(P)**  
コンピューターが自宅や職場などのプライベート ネットワークに接続しているときに適用されます。

**パブリック(U)**  
コンピューターがパブリック ネットワークに接続しているときに適用されます。

< 戻る(B)   **次へ(N) >**   キャンセル

## ⑩ 「名前」に「RemoteManager」を入力して「完了」をクリック

新規の受信の規則ウィザード

**名前**  
この規則の名前と説明を指定してください。

ステップ:

- 規則の種類
- プログラム
- プロトコルおよびポート
- スコープ
- 操作
- プロファイル
- 名前

名前(N):  
RemoteManager

説明 (オプション)(O):

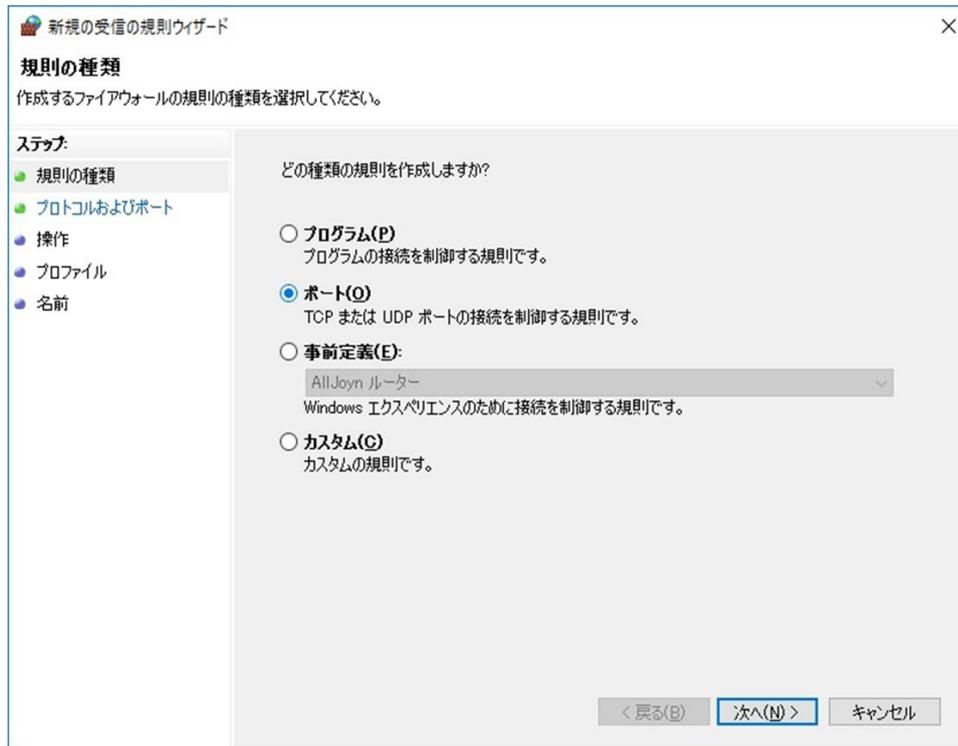
< 戻る(B)   **完了(F)**   キャンセル

## 6.4 「Windows ファイアウォール設定」で受信規則を手動追加する

- ① コントロールパネル > すべてのコントロールパネル > Windows ファイアウォール > 詳細設定 を開く
- ② コンソールツリーの「受信の規則」をクリック
- ③ 操作 > 新しい規則 を選択して「新規の受信の規則ウィザード」で受信の規則を追加する



- ④ 「ポート」を選択して「次へ」をクリック



- ⑤ 「TCP」を選択、「特定のローカルポート」を選択して「8888」を入力後に「次へ」をクリック

新規の受信の規則ウィザード

×

**プロトコルおよびポート**

この規則を適用するプロトコルとポートを指定してください。

**ステップ:**

- 規則の種類
- プロトコルおよびポート
- 操作
- プロファイル
- 名前

TCP と UDP のどちらにこの規則を適用しますか?

TCP(T)

UDP(U)

すべてのローカル ポートと特定のローカル ポートのどちらを対象にこの規則を適用するかを選択してください。

すべてのローカル ポート(A)

特定のローカル ポート(S):

例: 80、443、5000-5010

< 戻る(B)   **次へ(N) >**   キャンセル

- ⑥ 「接続を許可する」を選択して「次へ」をクリック

新規の受信の規則ウィザード

×

**操作**

規則で指定された条件を接続が満たす場合に、実行される操作を指定します。

**ステップ:**

- 規則の種類
- プロトコルおよびポート
- 操作
- プロファイル
- 名前

接続が指定の条件に一致した場合に、どの操作を実行しますか?

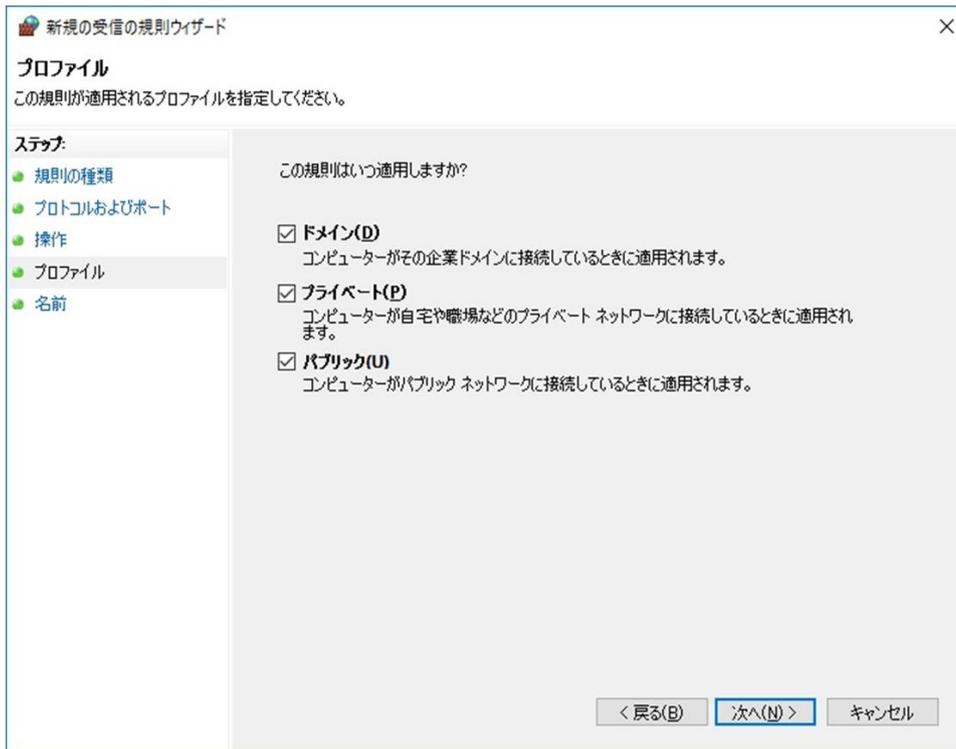
**接続を許可する(A)**  
IPsec を使用して保護された接続と保護されていない接続の両方を含みます。

**セキュリティで保護されている場合のみ接続を許可する(C)**  
IPsec を使用して認証された接続のみを含みます。接続は、IPsec プロパティ内の設定と接続セキュリティ規則ノード内の規則を使用して、セキュリティ保護されます。

**接続をブロックする(K)**

< 戻る(B)   **次へ(N) >**   キャンセル

- ⑦ 「ドメイン」、「プライベート」と「パブリック」にチェックを入れて「次へ」をクリック



- ⑧ 「名前」に規則名（名前の記載内容は任意）を記入して「完了」をクリック

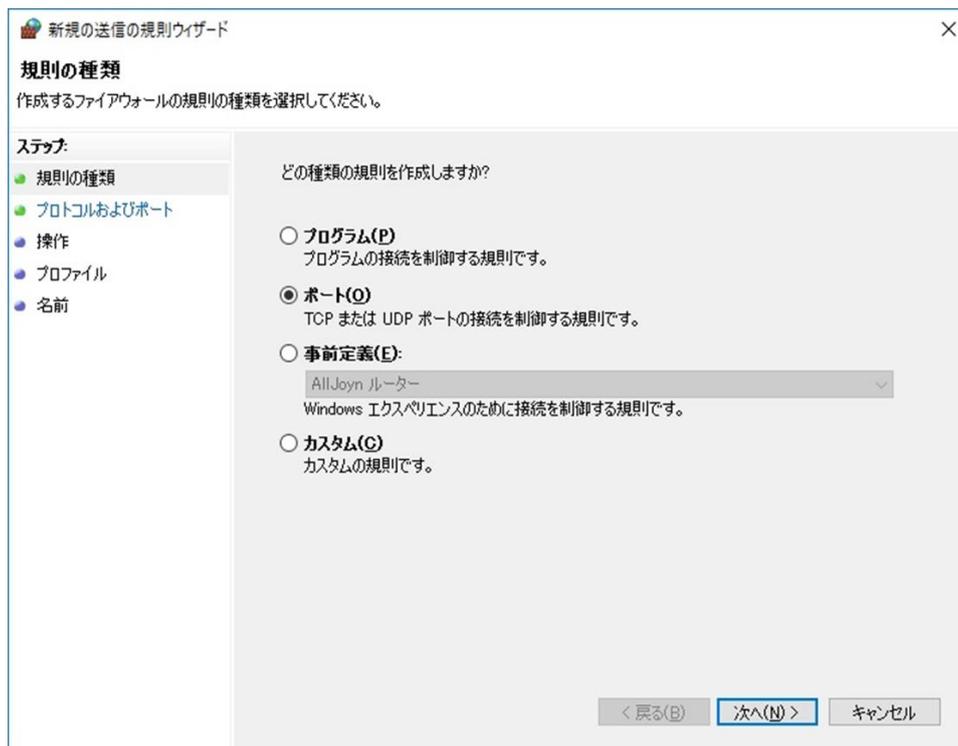


## 6.5 「Windows ファイアウォール設定」で送信規則を手動追加する

- ① コントロールパネル > すべてのコントロールパネル > Windows ファイアウォール > 詳細設定 を開く
- ② コンソールツリーの「送信の規則」をクリック
- ③ 操作 > 新しい規則 を選択して「新規の送信の規則ウィザード」で送信の規則を追加する



- ④ 「ポート」を選択して「次へ」をクリック



- ⑤ 「TCP」を選択、「特定のリモートポート」を選択して「4445」を入力後に「次へ」をクリック

新規の送信の規則ウィザード

プロトコルおよびポート  
この規則を適用するプロトコルとポートを指定してください。

ステップ:

- 規則の種類
- プロトコルおよびポート
- 操作
- プロファイル
- 名前

TCP と UDP のどちらにこの規則を適用しますか?

TCP(T)

UDP(U)

すべてのリモート ポートと特定のリモート ポートのどちらにこの規則を適用しますか?

すべてのリモート ポート(A)

特定のリモート ポート(S):

例: 80, 443, 5000-5010

< 戻る(B)   次へ(N) >   キャンセル

- ⑥ 「接続を許可する」を選択して「次へ」をクリック

新規の送信の規則ウィザード

操作  
規則で指定された条件を接続が満たす場合に、実行される操作を指定します。

ステップ:

- 規則の種類
- プロトコルおよびポート
- 操作
- プロファイル
- 名前

接続が指定の条件に一致した場合に、どの操作を実行しますか?

接続を許可する(A)  
IPsec を使用して保護された接続と保護されていない接続の両方を含みます。

セキュリティで保護されている場合のみ接続を許可する(C)  
IPsec を使用して認証された接続のみを含みます。接続は、IPsec プロパティ内の設定と接続セキュリティ規則ノード内の規則を使用して、セキュリティ保護されます。

接続をブロックする(K)

< 戻る(B)   次へ(N) >   キャンセル

- ⑦ 「ドメイン」、「プライベート」と「パブリック」にチェックを入れて「次へ」をクリック

新規の送信の規則ウィザード

**プロフィール**  
この規則が適用されるプロフィールを指定してください。

ステップ:

- 規則の種類
- プロトコルおよびポート
- 操作
- プロファイル
- 名前

この規則はいつ適用しますか?

**ドメイン(D)**  
コンピューターがその企業ドメインに接続しているときに適用されます。

**プライベート(P)**  
コンピューターが自宅や職場などのプライベート ネットワークに接続しているときに適用されます。

**パブリック(U)**  
コンピューターがパブリック ネットワークに接続しているときに適用されます。

< 戻る(B)   **次へ(N) >**   キャンセル

- ⑧ 「名前」に規則名（名前の記載内容は任意）を記入して「完了」をクリック

新規の送信の規則ウィザード

**名前**  
この規則の名前と説明を指定してください。

ステップ:

- 規則の種類
- プロトコルおよびポート
- 操作
- プロファイル
- 名前

名前(N):  
メディアプレーヤー送信規則

説明 (オプション)(D):

< 戻る(B)   **完了(F)**   キャンセル

## 6.6 リモートマネージャーPCのIPアドレス、MACアドレス（物理アドレス）を確認する方法

Wi-Fi でネットワーク接続の場合

```

ca. コマンドプロンプト
Wireless LAN adapter Wi-Fi:
接続固有の DNS サフィックス . . . . .:
説明 . . . . .: Intel(R) Dual Band Wireless-AC 7260
物理アドレス . . . . .: 8C:7F:23:23-00
DHCP 有効 . . . . .: はい
自動構成有効 . . . . .: (はい)
IPv4 アドレス . . . . .: 192.168.11.8(優先)
サブネット マスク . . . . .: 255.255.255.0
リース取得 . . . . .: 2016年12月27日 14:13:41
リースの有効期限 . . . . .: 2016年12月29日 14:13:40
デフォルト ゲートウェイ . . . . .: 192.168.11.1
DHCP サーバー . . . . .: 192.168.11.1
DNS サーバー . . . . .: 192.168.11.1
NetBIOS over TCP/IP . . . . .: 有効

```

有線 LAN でネットワーク接続の場合

```

ca. コマンドプロンプト
イーサネット アダプター イーサネット:
接続固有の DNS サフィックス . . . . .:
説明 . . . . .: Intel(R) Ethernet Connection I217-V
物理アドレス . . . . .: 8C:7F:23:23-00
DHCP 有効 . . . . .: はい
自動構成有効 . . . . .: (はい)
IPv4 アドレス . . . . .: 192.168.11.2(優先)
サブネット マスク . . . . .: 255.255.255.0
リース取得 . . . . .: 2016年12月26日 8:45:30
リースの有効期限 . . . . .: 2016年12月29日 9:33:19
デフォルト ゲートウェイ . . . . .: 0.0.0.0
DHCP サーバー . . . . .: 192.168.11.1
DNS サーバー . . . . .: 192.168.11.1
NetBIOS over TCP/IP . . . . .: 有効

```

- ・ リモートマネージャーをインストールしたパソコンで「コマンドプロンプト」を起動する
- ・ 「ipconfig /all」を入力して Enter キーを押下する
- ・ Wi-Fi 接続の場合は「Wireless LAN adapter Wi-Fi」を参照する
- ・ 有線 LAN 接続の場合は「イーサネット アダプター イーサネット」を参照する
- ・ IP アドレスは「IPv4 アドレス」の値を確認する
- ・ MAC アドレスは「物理 アドレス」の値を確認する

## 6.7 リモートマネージャーPC から同一ネットワーク MP-02 の MAC アドレスを確認する方法

```

C:\Users¥>arp -a
インターフェイス: 192.168.11.2 --- 0x3
インターネット アドレス 物理アドレス 種類
192.168.11.1 動的
192.168.11.3 動的
192.168.11.10 動的
192.168.11.255 静的
224.0.0.22 静的
224.0.0.252 静的
239.255.255.250 静的
255.255.255.255 静的
C:\Users¥>

```

→MP-02 側の IP アドレスはメディアプレーヤーの「ネットワーク設定 > IP アドレス」で確認します

- ・リモートマネージャーをインストールしたパソコンで「コマンドプロンプト」を起動する
- ・「arp-a」を入力して Enter キーを押下する
- ・一番上の「インターフェイス:」の IP アドレスはリモートマネージャーをインストールしたパソコンの IP アドレス
- ・この例では「192.168.11.1」はデフォルトゲートウェイの IP アドレス
- ・この例では「192.168.11.3」は MP-02\_Number01 の IP アドレス、および MAC アドレス
- ・この例では「192.168.11.10」は MP-02\_Number02 の IP アドレス、および MAC アドレス

## 6.8 同一ネットワークの MP-02 の登録名表示例

(ルーター経由で接続したリモートマネージャーをインストールしたパソコン上の表示)

ルーターに MP-02 を 2 台接続している場合 (MP-02 デバイス名は「MP-02\_Number01」と「MP-02\_Number02」としています)

デバイスプロパティ	MP-02_Number01
名前:	MP-02_Number01
IPアドレス:	192.168.11.3
空き容量:	7.23 GB

デバイス予約	スケジュールなし
スケジュール名:	スケジュールなし
スケジュール容量:	0 MB
予約:	オフ

**デバイス容量の詳細**

空き容量(98.0%)      使用容量(2.0%)

● 空き容量(98.0%)    ● 使用容量(2.0%)

登録した MP-02 デバイス名が表示しても消えてしまう場合は以下を参照してください。

- 「[リモートマネージャーの「LAN 接続 PC」でデバイス名を表示しない、表示してもすぐ消える](#)」、  
[「リモートマネージャーの「LAN 接続 PC」で以前は表示していたデバイス名が表示されなくなった](#)」

## 6.9 リモートマネージャーの設定情報を作り直す

- ① リモートマネージャーをインストールしたパソコンで、タスクマネージャを起動する (ESC+Shift+Ctrl)
  - ② プロセスタブを選択して、RemoteManajer を選択して「タスク終了」をクリック
  - ③ エクスプローラーを起動して c:\Users\%User\_Name%\Remoto Manager¥ を開く
  - ④ RemoteManagerFiles フォルダを削除する
  - ⑤ リモートマネージャーを起動する (1 回目の起動でバックグラウンド起動、2 回目の起動で UI 画面を表示します)
  - ⑥ MP-02 設定 UI でリモートマネージャーの IP アドレスを再登録する
- 以下を参照して設定してください。

[「MP-02 のデバイス名前とリモートマネージャー IP アドレスを設定する」](#)

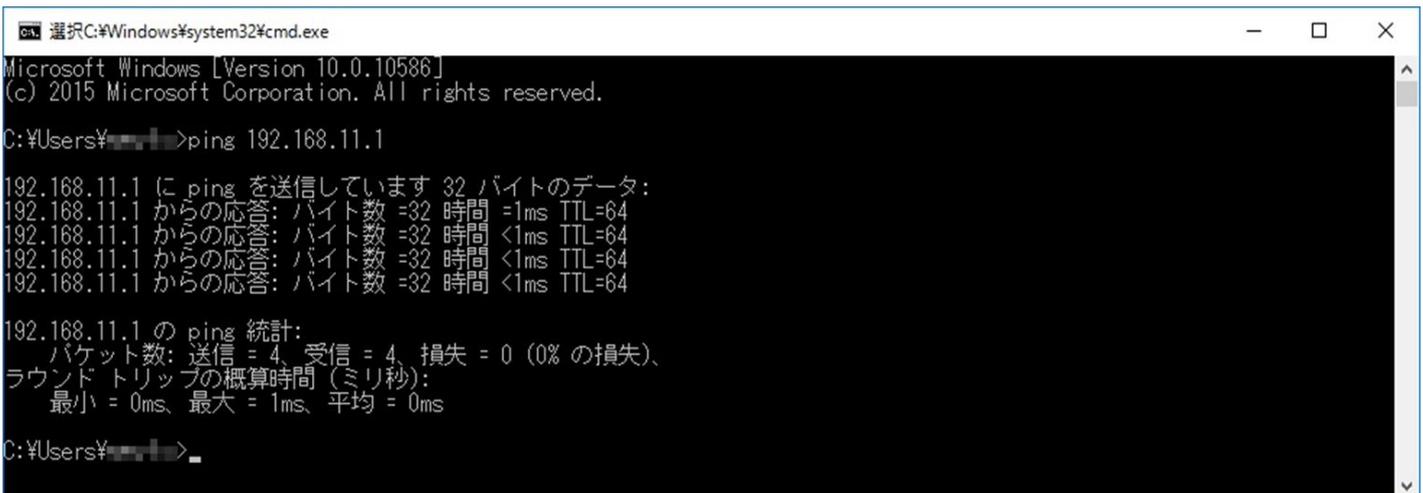
## 6.10 ping コマンドでネットワーク接続確認をする方法

- ① リモートマネージャーをインストールしたパソコンで、コマンドプロンプトを起動する (Windows キー + R で検索画面を表示して、cmd を入力して実行)
- ② 確認したい MP-02 の IP アドレスや接続しているルーターの IP アドレス情報を確認しておく  
→DHCP 設定 (または自動設定) 時の IP アドレス情報を確認する方法は以下を参照してください。

[DHCP 設定 \(自動設定\) 時の IP アドレスを確認する方法](#)

- ③ ping <確認したいデバイスの IP アドレス入力 (例 : 192.168.11.1) >
- ④ Enter キー を入力
- ⑤ 入力した IP アドレスから応答を確認する

(例) 同一ネットワーク内で正しく応答が返る時の結果



```

C:\Windows\system32\cmd.exe
Microsoft Windows [Version 10.0.10586]
(c) 2015 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Users\%User_Name%\>ping 192.168.11.1

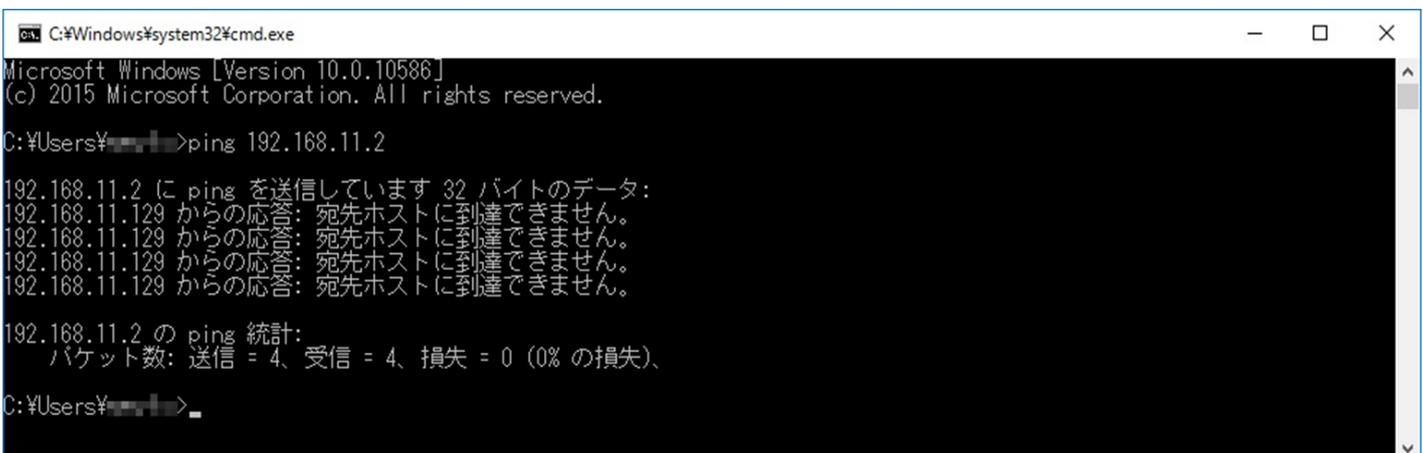
192.168.11.1 に ping を送信しています 32 バイトのデータ:
192.168.11.1 からの応答: バイト数 =32 時間 =1ms TTL=64
192.168.11.1 からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=64
192.168.11.1 からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=64
192.168.11.1 からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=64

192.168.11.1 の ping 統計:
    パケット数: 送信 = 4、受信 = 4、損失 = 0 (0% の損失)、
ラウンド トリップの概算時間 (ミリ秒):
    最小 = 0ms、最大 = 1ms、平均 = 0ms

C:\Users\%User_Name%\>

```

(例) 同一ネットワーク内で正しく応答が返らない時の結果



```

C:\Windows\system32\cmd.exe
Microsoft Windows [Version 10.0.10586]
(c) 2015 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Users\%User_Name%\>ping 192.168.11.2

192.168.11.2 に ping を送信しています 32 バイトのデータ:
192.168.11.129 からの応答: 宛先ホストに到達できません。
192.168.11.129 からの応答: 宛先ホストに到達できません。
192.168.11.129 からの応答: 宛先ホストに到達できません。
192.168.11.129 からの応答: 宛先ホストに到達できません。

192.168.11.2 の ping 統計:
    パケット数: 送信 = 4、受信 = 4、損失 = 0 (0% の損失)、

C:\Users\%User_Name%\>

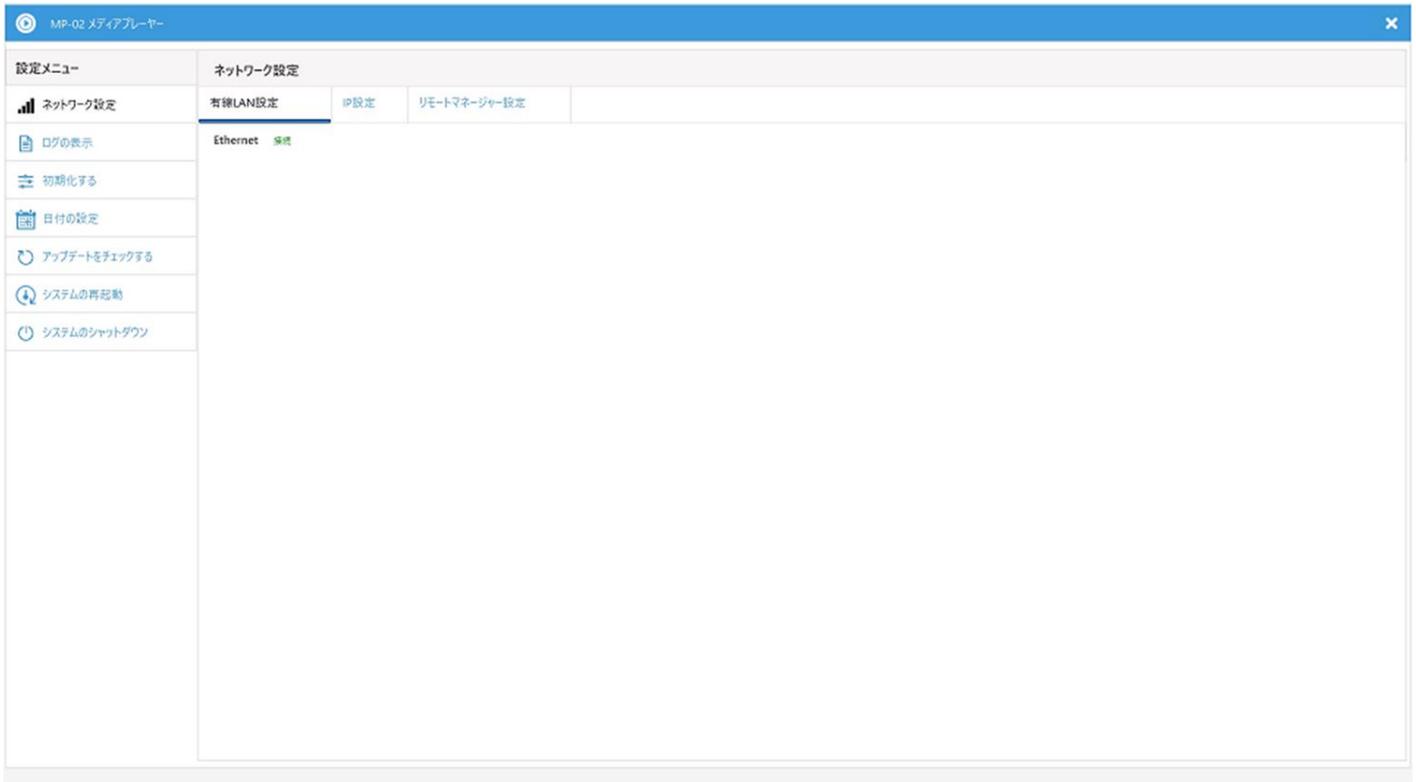
```

## 6.11 USB 有線 LAN とリモートマネージャーPC を LAN ケーブルで直接接続してエクスポート

USB 有線 LAN アダプター US3-HB3ETG (I-O DATA) を MP-02 に接続して Pear to Pear でエクスポートします。

- ① USB 有線 LAN アダプターを MP-02 に接続して、LAN ケーブルをリモートマネージャー PC の有線 LAN ポートに接続する
- ② MP-02 の電源 ON する→メディアプレーヤーの設定 UI を表示する
- ③ メディアプレーヤーの設定 UI で MP-02 の IP 設定を行う

a. 「有線 LAN 設定」で「Ethernet 接続」となっていることを確認



b. 「IP 設定」で「IP のコンフィギュレーション」を自動から手動に変更して各アドレス設定後、「OK」をクリックする

例

IP アドレス 192.168.1.10 (MP-02 の IP アドレス)  
 サブネットマスク 255.255.255.0  
 デフォルトゲートウェイ 192.168.1.20 (リモートマネージャー-PC に設定する IP アドレスを設定する)  
 DNS サーバー 192.168.1.20 (リモートマネージャー-PC に設定する IP アドレスを設定する)  
 代理 DNS サーバー 192.168.1.20 (リモートマネージャー-PC に設定する IP アドレスを設定する)

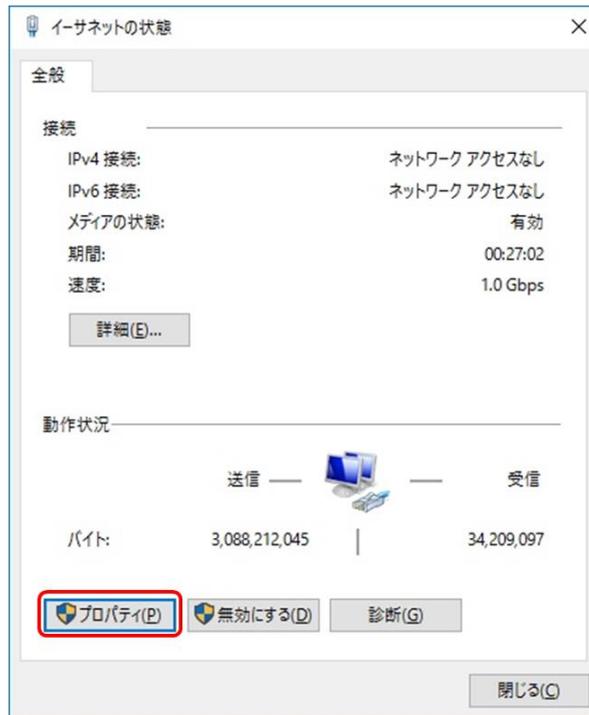
1	2	3	/
4	5	6	-
7	8	9	←
↵	+	0	↵

④ リモートマネージャー-PC のネットワーク設定を行う

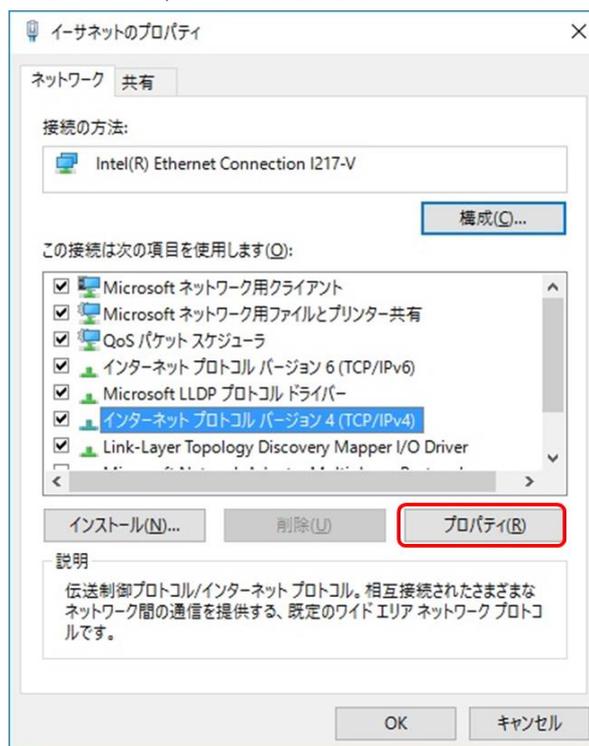
a. コントロールパネル から「ネットワークと共有センター」を起動して「イーサネット」をクリックする



b. 「プロパティ」をクリック



c. 「インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)」を選択して「プロパティ」をクリック



- d. 「次の IP アドレスを使う」を選択して、IP アドレスとサブネットマスクを入力

「OK」をクリック（「イーサネットのプロパティ」、「イーサネットの状態」も同様に「OK」をクリックして閉じる例

IP アドレス            192.168.1.20（リモートマネージャーPC に設定する IP アドレス）

サブネットマスク    255.255.255.0

※デフォルトゲートウェイ、DNS サーバーの設定は不要（空白のまま）

- ⑤ リモートマネージャーPC でコマンドプロンプトを起動して ping で MP-02 との接続を確認する

```

C:\Users#\>ping 192.168.1.10

192.168.1.10 に ping を送信しています 32 バイトのデータ:
192.168.1.10 からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=128

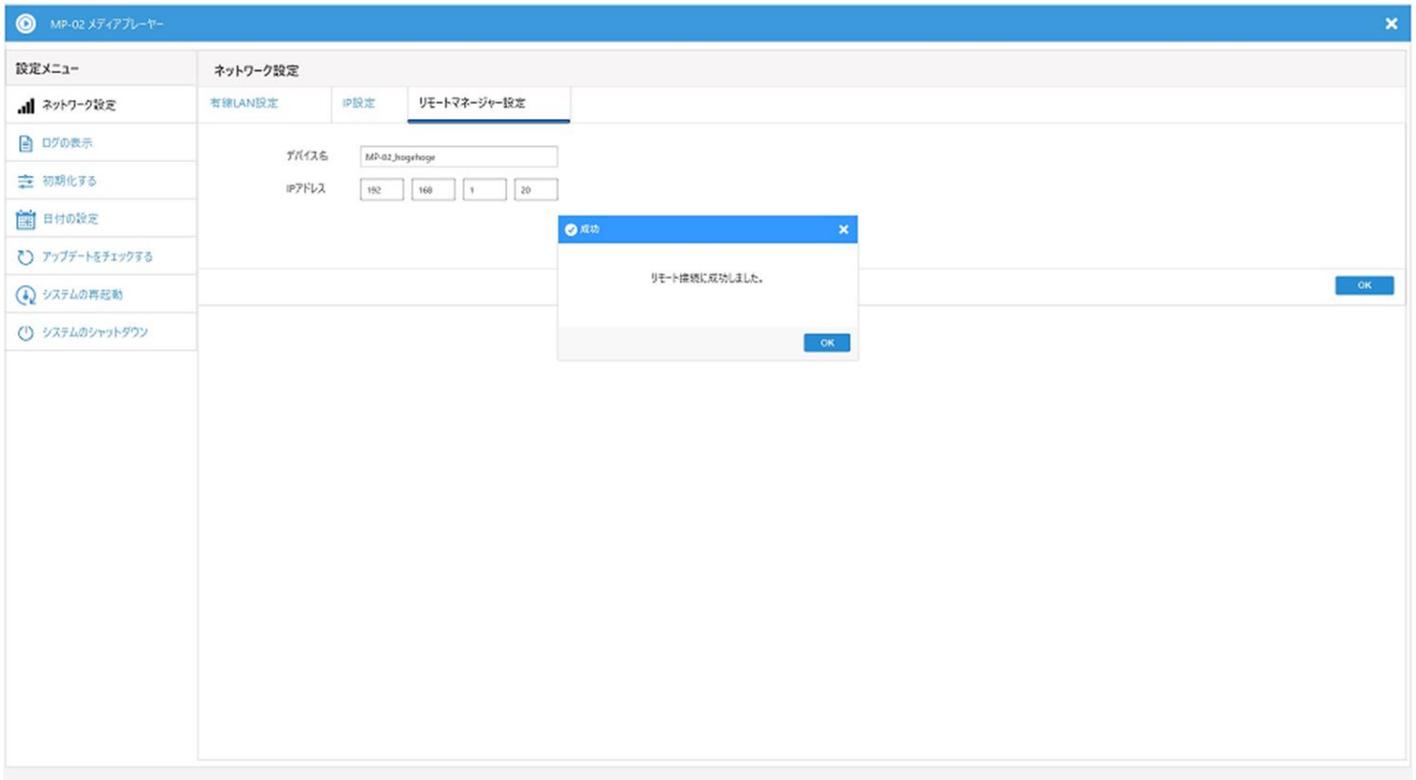
192.168.1.10 の ping 統計:
    パケット数: 送信 = 4、受信 = 4、損失 = 0 (0% の損失)、
ラウンドトリップの概算時間 (ミリ秒):
    最小 = 0ms、最大 = 0ms、平均 = 0ms

C:\Users#\>

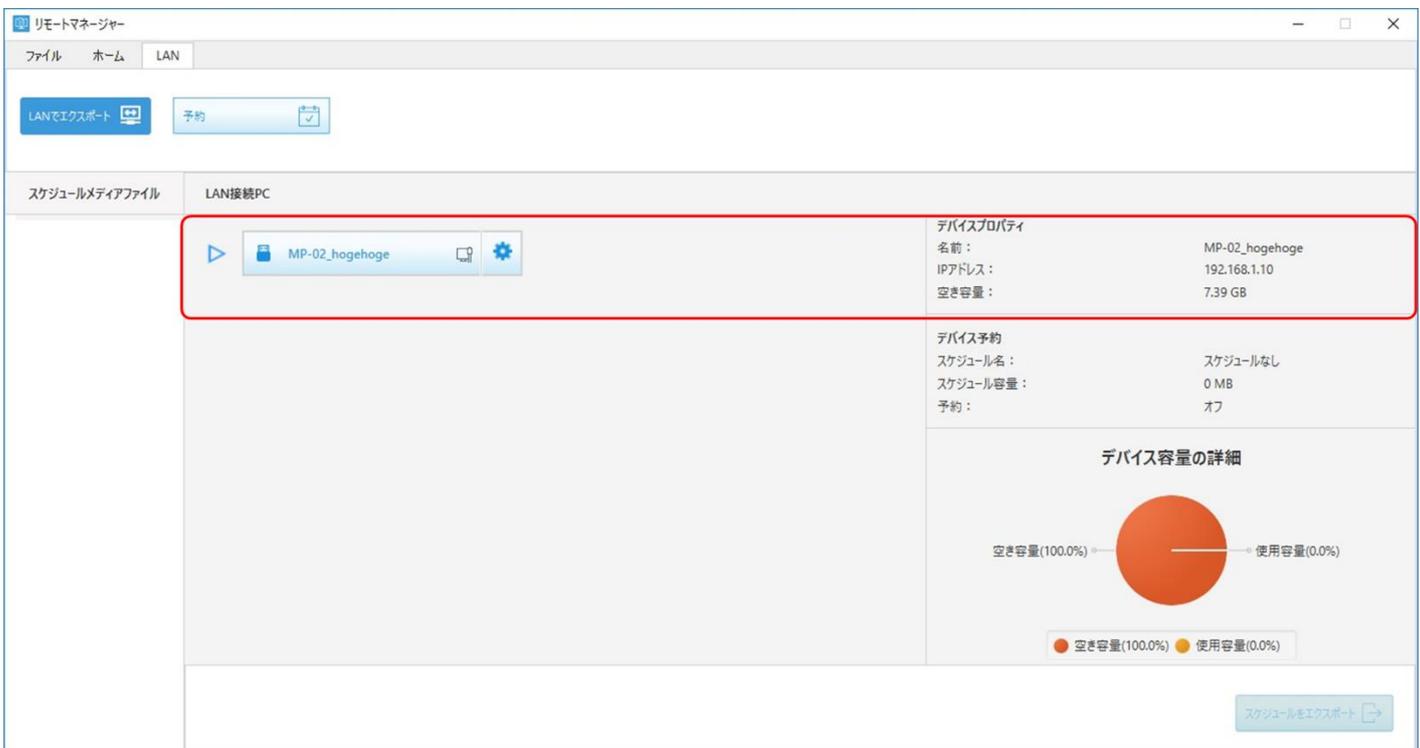
```

MP-02 の IP アドレスから応答が返ってくることを確認する

- ⑥ メディアプレーヤー設定 UI の「リモートマネージャー設定」で「デバイス名」を設定して、「IP アドレス」にリモートマネージャーPC の IP アドレスを設定して、「OK」をクリックする



「リモート接続に成功しました」ポップアップを表示できればリモートマネージャー側にも設定したデバイス名を表示します

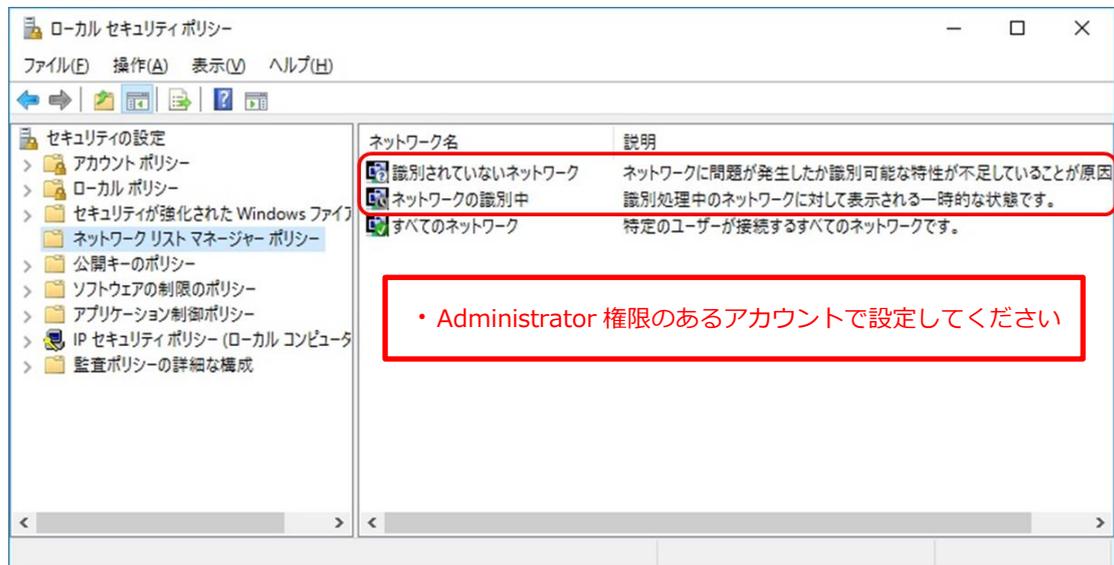


## 6.12 「アクティブなネットワーク表示」の「パブリック」を「プライベート」へ変更する方法

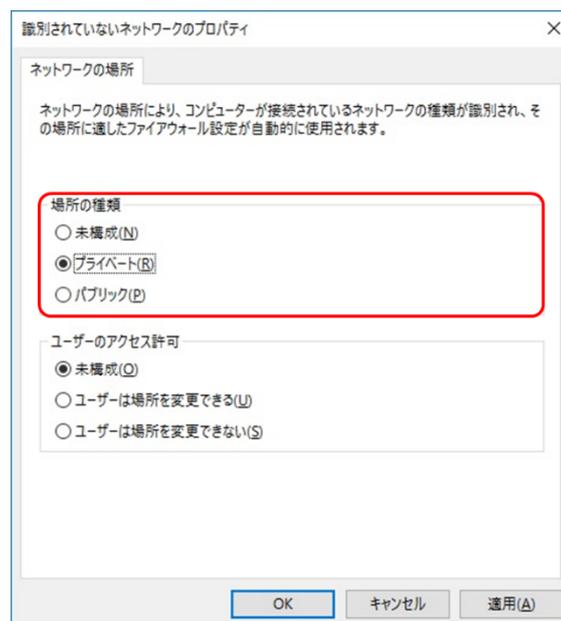
① 現在のポリシーを確認するため、コントロールパネル から「ネットワークと共有センター」を起動する



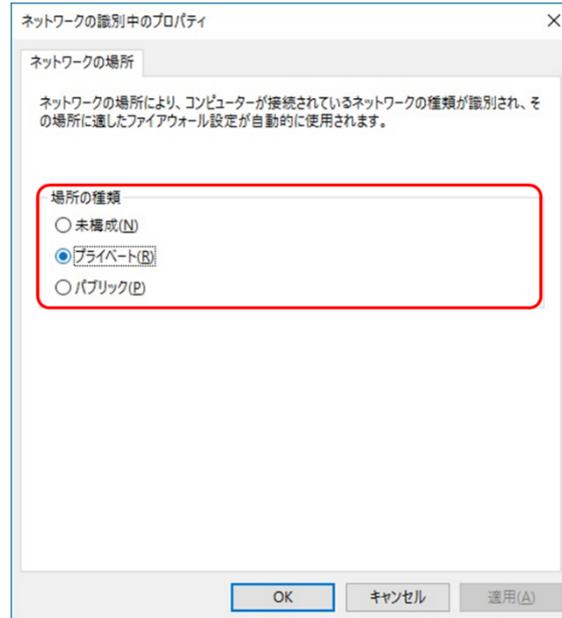
② コントロールパネルから「管理ツール」を起動して、「ローカルセキュリティポリシー」を選択・起動する



③ 「選別されていないネットワーク」をダブルクリックしてプロパティを表示させて「プライベート」を選択して「OK」をクリック



- ④ 「ネットワークの選別中」をダブルクリックしてプロパティを表示させて「プライベート」を選択して「OK」をクリック



- ⑤ 再びコントロールパネル から「ネットワークと共有センター」を起動してポリシーを確認する



## 6.13 「アクティブなネットワーク表示」の「パブリック」を「プライベート」へ変更する方法(Windows 8.1 / 10 編)

<Windows 8.1 の場合>

## ① チャームを表示する

※チャームを表示する方法

方法①デスクトップで右上隅にカーソルを移動させて表示

方法②Win キー + C で表示

## ② 「設定」&gt; 「PC 設定の変更」をクリック

## ③ 「ネットワーク」をクリック

## ④ 「Wi-Fi」または「イーサネット」に表示されている接続済み（未接続の場合は設定変更できない）のネットワークアイコンをクリック

## ⑤ 「デバイスとコンテンツの検索」で オフからオンに変更する

→オンからオフに設定すると「パブリック」に設定変更されます。

→オフ設定は「パブリック」、オン設定は「プライベート」に設定されます。

<Windows 10 の場合>

## ① 「Windows」メニュー &gt; 「設定」をクリック

## ② 「ネットワークとインターネット」をクリック

## ③ -1 無線接続の場合「Wi-Fi」&gt; 「詳細オプション」をクリックする

## ③ -2 有線接続の場合「イーサネット」&gt; 「イーサネット」に表示されているネットワークアイコンをクリックする

## ④ 「この PC を検出可能にする」で オフからオンに変更する

→オンからオフに設定すると「パブリック」に設定変更されます。

→オフ設定は「パブリック」、オン設定は「プライベート」に設定されます。

## 6.14 DHCP 設定（自動設定）時の IP アドレスを確認する方法

<リモートマネージャーPC の場合その 1>

コマンドプロンプトで確認する

① [リモートマネージャーPCのIPアドレス、MACアドレス（物理アドレス）を確認する方法](#)

・IPv4 アドレス：リモートマネージャーPCのIPアドレス

・IPv4 デフォルトゲートウェイ：リモートマネージャーが接続しているルーターのデフォルトゲートウェイアドレス

<リモートマネージャーPC の場合その 2>

コントロールパネルで確認する

## ① 「コントロールパネル」&gt; 「すべてのコントロールパネル項目」&gt; 「ネットワークと共有センター」をクリック

## ② 「アクティブなネットワークの表示」の接続（有線の場合は「イーサネット」、無線接続の場合は「Wi-Fi」）をクリック

## ③ 「イーサネットの状態（有線接続の場合）」または「Wi-Fiの状態（無線接続の場合）」の「詳細」をクリック

→「ネットワーク接続の詳細」が表示されます。

## ④ 「ネットワーク接続の詳細」リストビュー内の以下の項目がそれぞれのIPアドレス情報です。

・IPv4 アドレス：リモートマネージャーPCのIPアドレス

・IPv4 デフォルトゲートウェイ：リモートマネージャーが接続しているルーターのデフォルトゲートウェイアドレス

<リモートマネージャーPC の場合その 3>

リモートマネージャーで確認する

## ① リモートマネージャーPCにメモリーカード、USBメモリーを接続する

## ② リモートマネージャーを起動する

## ③ 「ホーム」&gt; 「My PC、メモリーカード、USBメモリー」の項②の手順で接続したメモリーをクリックする

・「デバイスプロパティ」の「IPアドレス」に表示されているアドレスがリモートマネージャーPCのIPアドレス

## &lt;MP-02 の場合&gt;

メディアプレーヤーの設定メニューで確認

- ① MP-02 の設定メニューを表示 (MP-02 に USB マウスを接続して、再生中または「スケジュールがありません。メモリーカードを確認してください。」表示でダブルクリック)
- ② 設定メニューの「ネットワーク設定」をクリック
- ③ 「IP 設定」タブをクリック
  - ・「IP のコンフィグレーション」が「自動」設定で既に MP-02 がリモートマネージャーに登録完了している場合は「IP アドレス」に表示の値が MP-02 の IP アドレス (グレースアウト表示)
  - ・リモートマネージャーに MP-02 登録されていない場合はルーターに接続完了後、「自動」設定で「OK」をクリックすると、ルーターが割り当てる IP アドレスをグレースアウトで表示

## 6.15 ローカル PC に NTP サーバーを構築してメディアプレーヤーに設定する

外部の NTP サーバーに接続できない環境で運用する場合、リモートマネージャーインストール PC 等を NTP サーバーとして使用方法を説明します。

<リモートマネージャー PC に NTP サーバーを構築する>

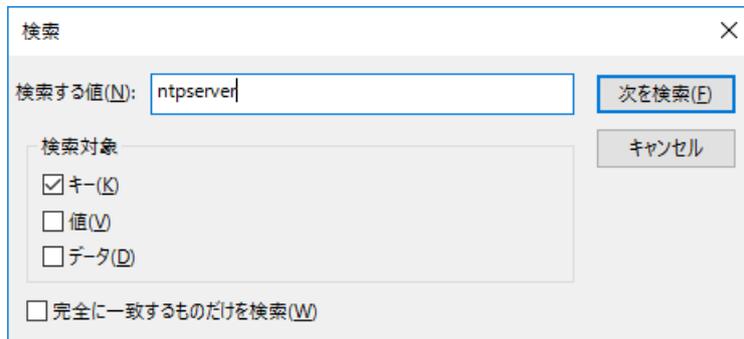
## 1. NTP サーバー機能を有効にする

レジストリエディターでレジストリの 2 つのキー値を設定変更します。

**注意：レジストリ変更には十分注意して行ってください。誤って変更すると、パソコンが起動しなくなることがあります。**

**レジストリを変更する前にレジストリをバックアップしてください。バックアップ方法・復元方法に関してはマイクロソフト等のサイトを確認ください。**

- ① regedit.exe を起動する (Windows の検索機能で regedit を検索・実行します)
- ② 「編集」>「検索」で ntpserver を検索して変更対象キーを確認する。変更対象は以下の 2 つ。



HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SYSTEM\ControlSet001\services\W32Time\TimeProviders\NtpServer

値の名前：Enabled、値のデータ：1

HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SYSTEM\ControlSet001\services\W32Time\Config

値の名前：AnnounceFlags、値のデータ：5

- ③ regedit.exe を終了する

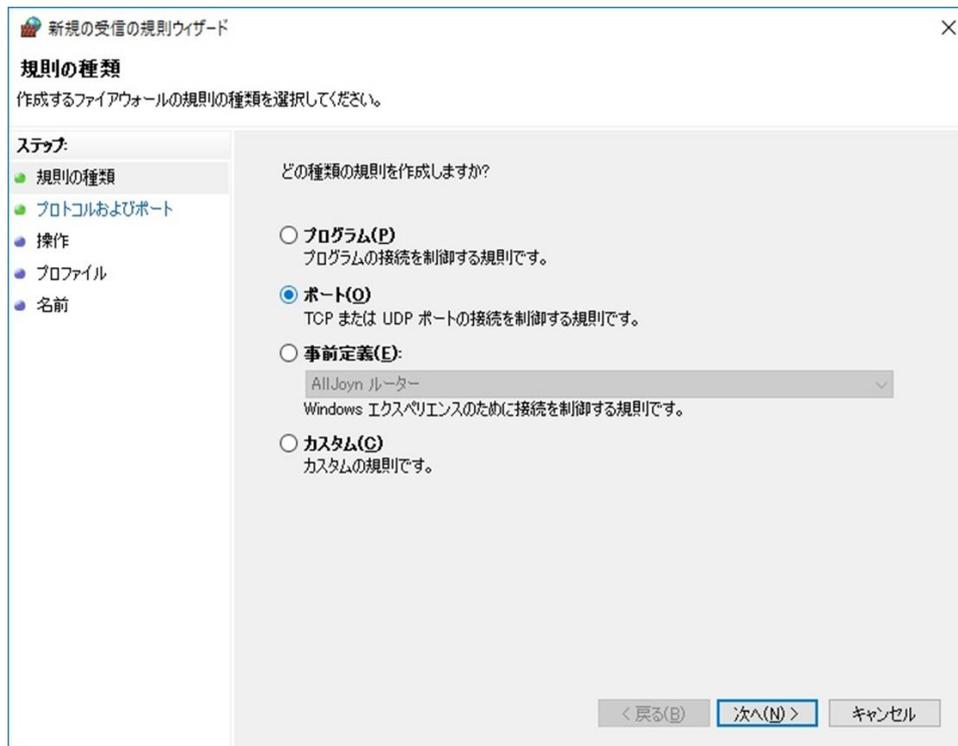
## 2. NTP サーバー用のポートを設定する

Windows ファイアウォールで受信規則を追加します。

- ① コントロールパネル > すべてのコントロールパネル > Windows ファイアウォール > 詳細設定 を開く
- ② コンソールツリーの「受信の規則」をクリック
- ③ 操作 > 新しい規則 を選択して「新規の受信の規則ウィザード」で受信の規則を追加する



## ④ 「ポート」を選択して「次へ」をクリック



- ⑤ 「UDP」を選択、「特定のローカルポート」を選択して「123」を入力後に「次へ」をクリック

新規の受信の規則ウィザード

×

**プロトコルおよびポート**  
この規則を適用するプロトコルとポートを指定してください。

ステップ:

- 規則の種類
- プロトコルおよびポート
- 操作
- プロファイル
- 名前

TCP と UDP のどちらにこの規則を適用しますか?

TCP(T)

UDP(U)

すべてのローカル ポートと特定のローカル ポートのどちらを対象にこの規則を適用するかを選択してください。

すべてのローカル ポート(A)

特定のローカル ポート(S):

例: 80、443、5000-5010

< 戻る(B)   **次へ(N) >**   キャンセル

- ⑥ 「接続を許可する」を選択して「次へ」をクリック

新規の受信の規則ウィザード

×

**操作**  
規則で指定された条件を接続が満たす場合に、実行される操作を指定します。

ステップ:

- 規則の種類
- プロトコルおよびポート
- 操作
- プロファイル
- 名前

接続が指定の条件に一致した場合に、どの操作を実行しますか?

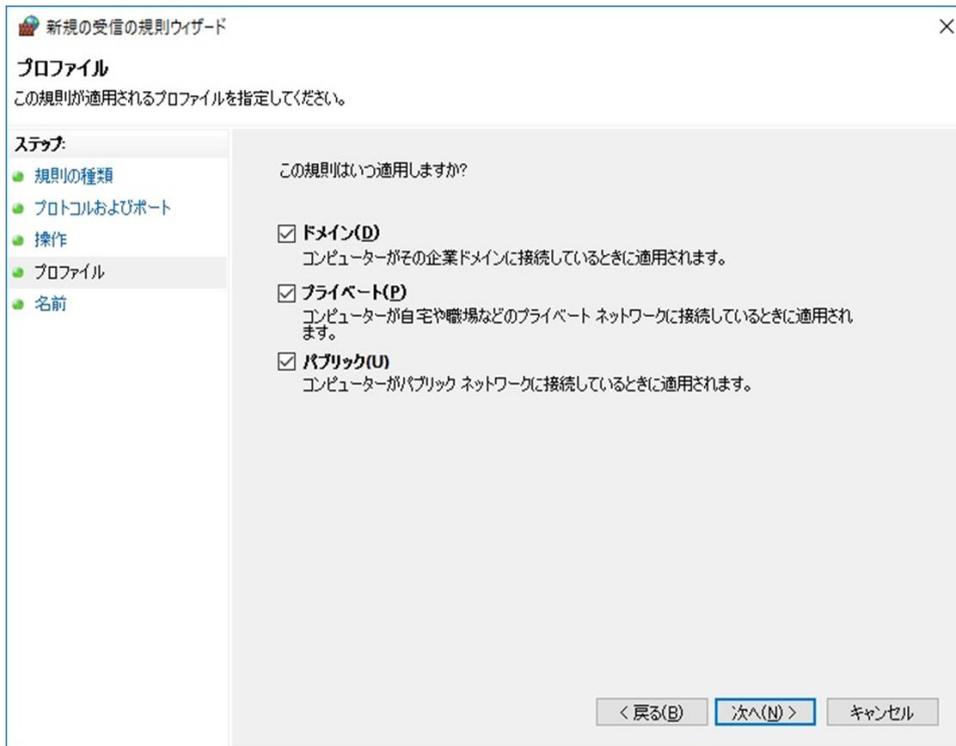
**接続を許可する(A)**  
IPsec を使用して保護された接続と保護されていない接続の両方を含みます。

**セキュリティで保護されている場合のみ接続を許可する(C)**  
IPsec を使用して認証された接続のみを含みます。接続は、IPsec プロパティ内の設定と接続セキュリティ規則ノード内の規則を使用して、セキュリティ保護されます。

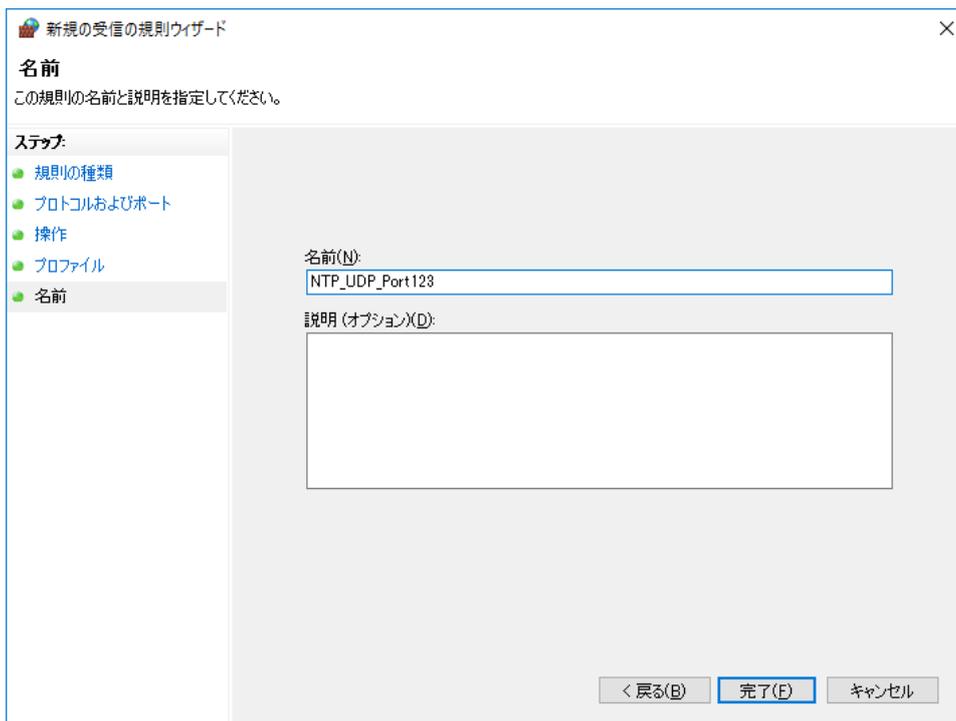
**接続をブロックする(K)**

< 戻る(B)   **次へ(N) >**   キャンセル

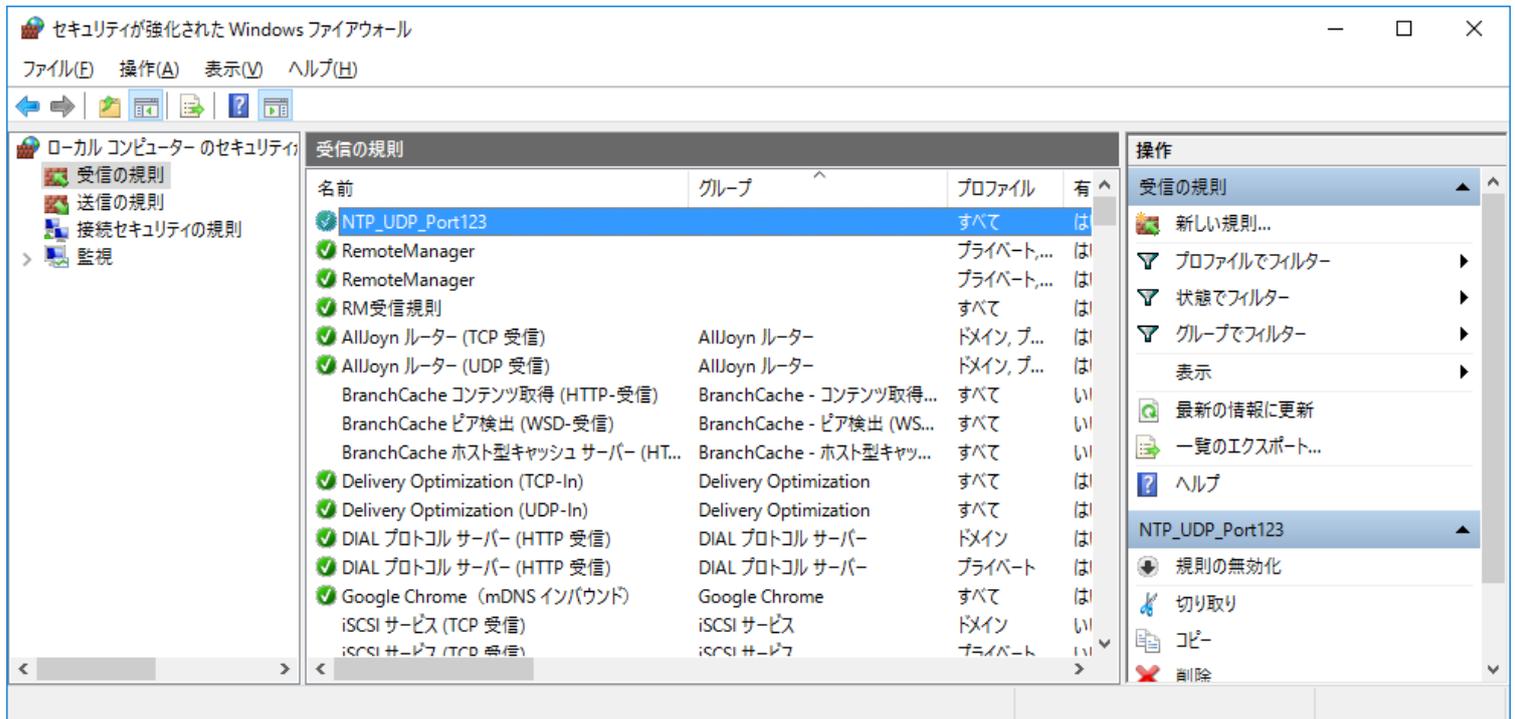
- ⑦ 「ドメイン」、「プライベート」と「パブリック」にチェックを入れて「次へ」をクリック



- ⑧ 「名前」に規則名（名前の記載内容は任意）を記入して「完了」をクリック



## ⑨ 受信の規則に作成した規則が追加されます



## 3. Windows Time サービス (w32time) を再起動する

管理者権限でコマンドプロンプトを起動して、w32time サービスを再起動します。以降の操作でサービス停止・開始ができずエラーとなる場合は、管理者権限でコマンドプロンプトが起動できていない可能性があります。

## ① net stop 32time を入力して実行

```

管理者: コマンドプロンプト
Microsoft Windows [Version 10.0.10586]
(c) 2015 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\WINDOWS\system32>net stop w32time
Windows Time サービスを停止中です。
Windows Time サービスは正常に停止されました。

C:\WINDOWS\system32>

```

## ② net start 32time を入力して実行

```

管理者: コマンドプロンプト
Microsoft Windows [Version 10.0.10586]
(c) 2015 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\WINDOWS\system32>net stop w32time
Windows Time サービスを停止中です。
Windows Time サービスは正常に停止されました。

C:\WINDOWS\system32>net start w32time
Windows Time サービスを開始します。
Windows Time サービスは正常に開始されました。

C:\WINDOWS\system32>

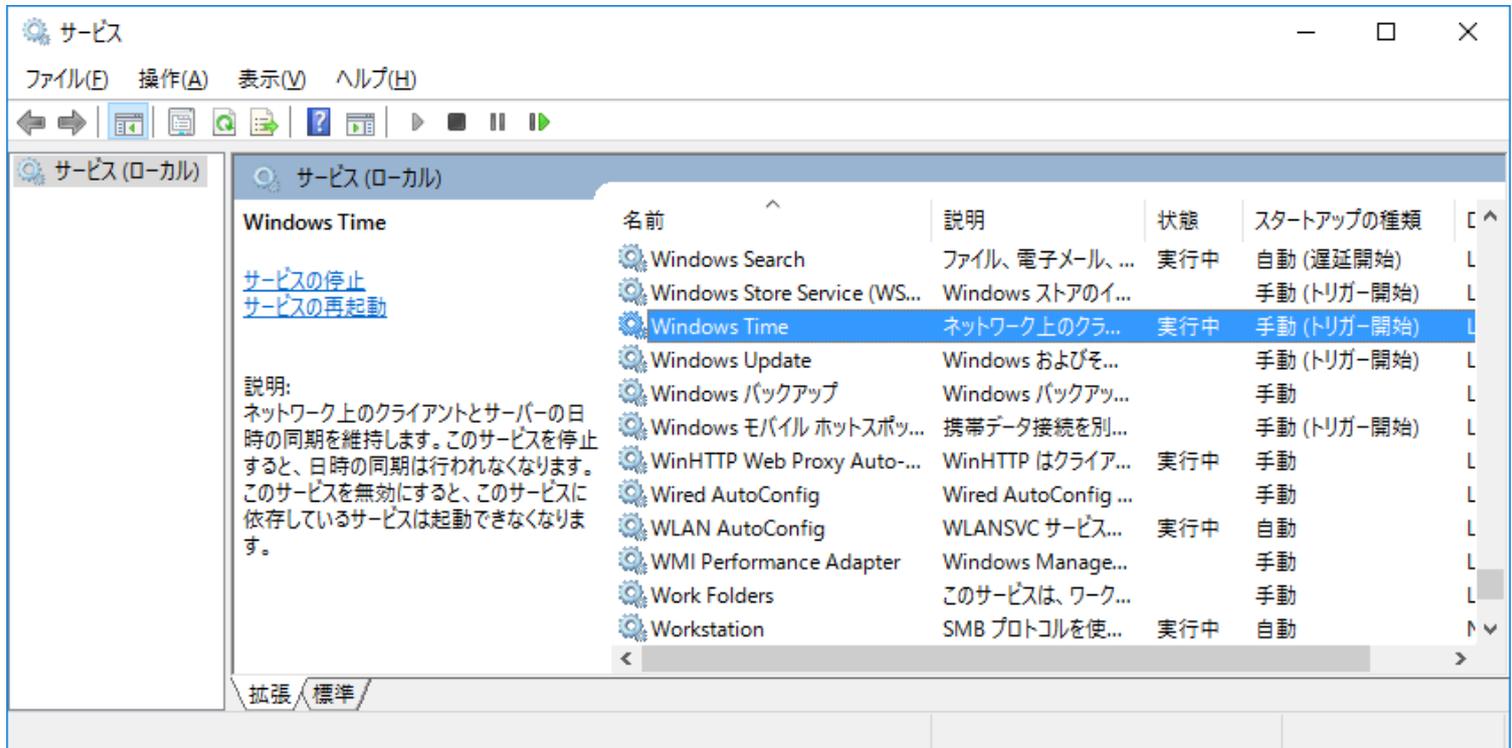
```

## 4. Windows Time サービスの確認

サービスを起動して Windows Time サービスが実行中になっているか確認します。

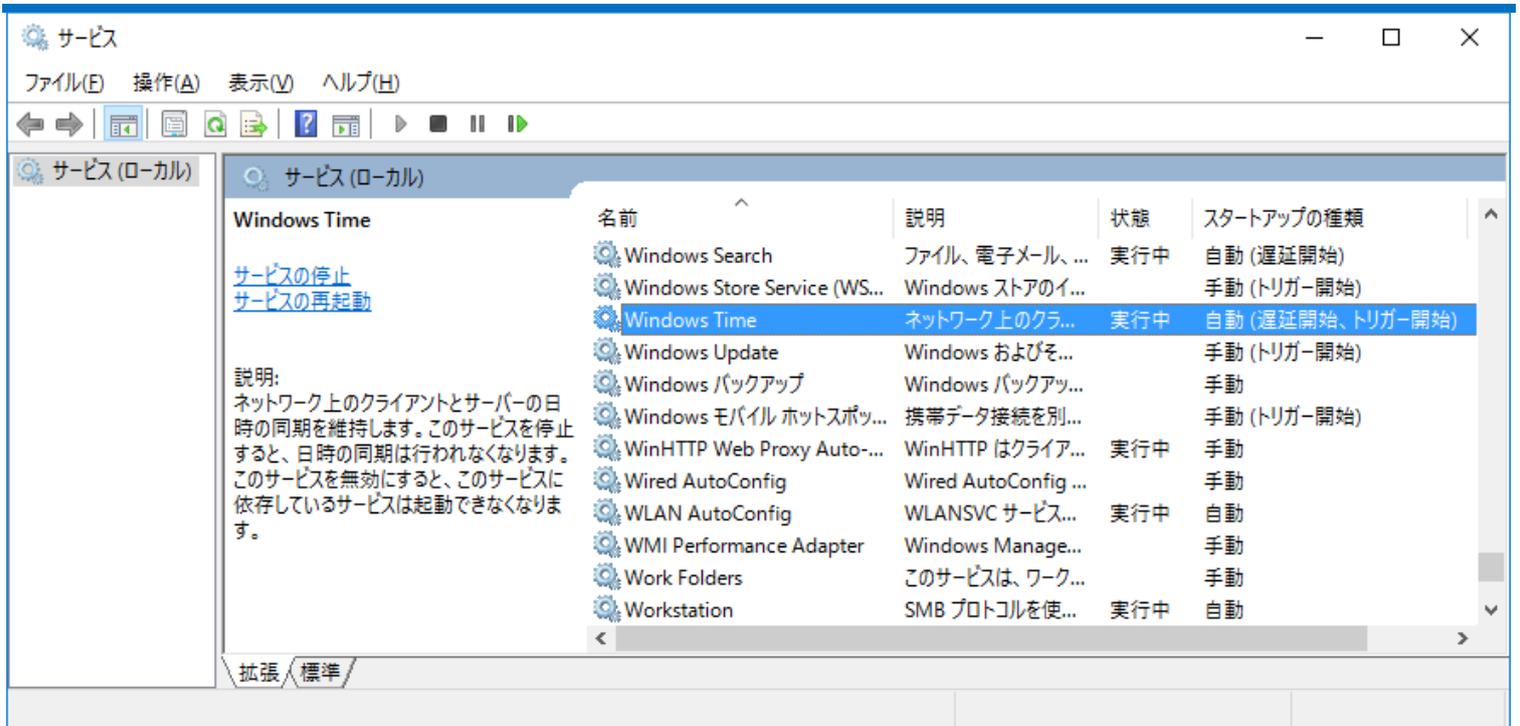
必要に応じてスタートアップの種類を自動設定変更することができます。

- ① 「コントロールパネル」から「管理ツール」を起動して「サービス」を起動する
- ② サービス一覧の名前から「Windows Time」をクリックする（下の図は「実行中」で「手動（トリガー開始）」になっています）



- ③ 「Windows Time」を右クリックで「プロパティ」を選択して、「スタートアップの種類」のプルダウンから「自動（遅延開始）」を選択して「OK」をクリックする





<メディアプレーヤーでローカルに構築した NTP サーバーを設定する>

- MP-02 の設定メニューを表示 (MP-02 に USB マウスを接続して、再生中または「スケジュールがありません。メモリーカードを確認してください。」表示でダブルクリック) regedit.exe を起動する (Windows の検索機能で regedit を検索・実行します)
- 設定メニューの「日付の設定」をクリック
- 「日付と時刻の設定」の「NTP サーバー」ラジオボタンをクリック
- 「NTP サーバー」テキストボックスにローカル NTP サーバーの IP アドレスを設定して「OK」をクリック (例: 192.168.11.2)

※リモートマネージャーPC に NTP サーバーを構築した場合はリモートマネージャーPC の IP アドレスを確認・設定してください



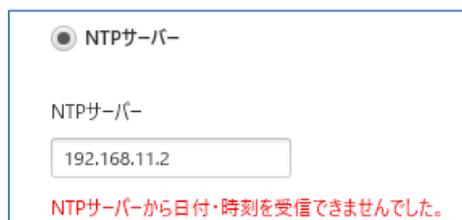
設定した NTP サーバーに接続成功すると以下のメッセージを設定メニュー中央に表示してメディアプレーヤーが再起動します。

※設定完了後に設定メニューの「日付と時刻の設定」を表示すると初期値の「jp.pool.ntp.org」を表示します (メディアプレーヤーは設定したアドレスを保持します)。初期値で「OK」をクリックすると設定したアドレスが初期値に変更されます。



設定した NTP サーバーに接続に失敗すると以下のメッセージを表示します。

本メッセージが表示された場合、設定した IP アドレスが間違っているか、Windows Time サービスが「実行中」でない可能性があります。IP アドレスを確認するか、NTP サーバーを構築した PC で Windows Time サービスを開始してください。



## 7. MP-02 が表示するメッセージ

MP-02 が全画面表示するメッセージと表示する条件について説明します。

メッセージ	表示条件
<黒画面表示（何も表示しない）>	スケジュールのプログラムがタイムテーブルで設定されていない場合に黒画面表示します。
スケジュールがありません。 メモリーカードを確認してください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メモリーカードに再生しようとするスケジュールがないときに表示します。</li> <li>・メモリーカードがない（正しく認識されていない、または挿入されていない状態）ときに表示します。</li> <li>・再生しようとする日付に予定表がスケジュール設定されていないときに表示します。</li> </ul>
スケジュールを受信中です。 電源を切らないでください。	リモートマネージャーからネットワーク経由でスケジュールを受信しているときに表示します。
スケジュールを確認中です。	<USB メモリーコピー機能使用時に表示> メモリーカードへコピーするスケジュールがあるか USB メモリーを確認しています。 →確認動作は数秒で完了して次の動作へ遷移します。
コピー中です。 電源を切らないでください。	<USB メモリーコピー機能使用時に表示> USB メモリーからメモリーカードへスケジュールをコピー中に表示します。
コピーを終了しました。 シャットダウン後、USB メモリーを取り外してください。 10 秒後、MP-02 をシャットダウンします。 10	<USB メモリーコピー機能使用時に表示> →10 秒後、自動的に MP-02 をシャットダウンします。 メモリーカードへのスケジュールコピーが正常終了したときに表示します。 USB メモリー取り外し後、MP-02 を起動してください。
スケジュールがありません。 シャットダウン後、USB メモリーを取り外してください。 10 秒後、MP-02 をシャットダウンします。 10	<USB メモリーコピー機能使用時に表示> →10 秒後、自動的に MP-02 をシャットダウンします。 USB メモリーにスケジュールが存在しない時に表示します。USB メモリー内でスケジュールデータがあるかどうか確認してください。
スケジュールをコピーできません。 シャットダウン後、USB メモリーを取り外してください。 10 秒後、MP-02 をシャットダウンします。 10	<USB メモリーコピー機能使用時に表示> →10 秒後、自動的に MP-02 をシャットダウンします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・書き込み動作を始めようとした時にメモリーカードがない（と認識された）ときに表示します。</li> <li>・書き込み中に何かしらの障害がありコピーに失敗したときに表示します。</li> </ul> メモリーカードを挿入しなおしてから再操作してください。
スケジュールをコピーできません。 10 秒後、MP-02 をシャットダウンします。 10	<USB メモリーコピー機能使用時に表示> →10 秒後、自動的に MP-02 をシャットダウンします。 スケジュールコピー中に USB メモリーが取り外されたときに表示します。操作をやり直してください。
メモリーカードの空き容量が不足しています。 シャットダウン後、USB メモリーを取り外してください。 10 秒後、MP-02 をシャットダウンします。 10	<USB メモリーコピー機能使用時に表示> →10 秒後、自動的に MP-02 をシャットダウンします。 メモリーカード容量が足りない時に表示します。コピーしようとするスケジュールのデータサイズがメモリーカード容量より大きいため、大容量にメモリーカードに変えるか、オーサリングソフトウェアでスケジュールを編集してサイズを減らす必要があります。

<p><b>メモリーカードがありません。（エラー101）</b> システムは 30 秒後に再起動します ダブルクリックすると再起動を停止します。</p>	<p>&lt;メモリーカードが認識できない時に表示&gt; MP-02 がスケジュールデータ再生中にメモリーカードが何らかの理由で認識できなくなったときに表示します。30 秒後に MP-02 が自動的に再起動します。マウスでダブルクリックすると再起動を停止することができます。停止した場合は「メモリーカードがありません。（エラー101）」を表示します。 なお、マウス操作で停止しない場合、メモリーカードが認識できるまで本動作を繰り返します。（合計 3 回実施します） - マウスをダブルクリックしてメニューを呼び出してからシャットダウンを実施してください。メモリーカードを挿入しなおしてスケジュールが再生されるか確認してください。再生されない場合、メモリーカードが破損している可能性があります。別のパソコンなどで正しく動作するかを確認してください。</p>
<p><b>メモリーカードがありません。（エラー101）</b></p>	<p>上記の「エラー101」メッセージ表示中にマウスダブルクリックで再起動を停止すると表示します。 - マウスをダブルクリックしてメニューを呼び出してからシャットダウンを実施してください。メモリーカードを挿入しなおしてスケジュールが再生されるか確認してください。再生されない場合、メモリーカードが破損している可能性があります。別のパソコンなどで正しく動作するかを確認してください。</p>
<p><b>メモリーカードがありません。（エラー102）</b> システムは 30 秒後に再起動します ダブルクリックすると再起動を停止します。</p>	<p>&lt;メモリーカードのデータが読めない時に表示&gt; MP-02 がスケジュールデータ再生中にメモリーカードのデータが何らかの理由で読めなくなったときに表示します。30 秒後に MP-02 が自動的に再起動します。マウスでダブルクリックすると再起動を停止することができます。停止した場合は「メモリーカードがありません。（エラー102）」を表示します。 なお、マウス操作で停止しない場合、メモリーカードからデータが読み込めなければ本動作を繰り返します。（合計 3 回実施します） - マウスをダブルクリックしてメニューを呼び出してからシャットダウンを実施してください。メモリーカードを挿入しなおしてスケジュールが再生されるか確認してください。再生されない場合、メモリーカードが破損している可能性があります。別のパソコンなどで正しく動作するかを確認してください。メモリーカードにスケジュールデータがあるかどうか確認してください。メモリーカードに問題がなければスケジュールを再エクスポートしてください。</p>
<p><b>メモリーカードがありません。（エラー102）</b></p>	<p>上記の「エラー102」メッセージ表示中にマウスダブルクリックで再起動を停止すると表示します。 - マウスをダブルクリックしてメニューを呼び出してからシャットダウンを実施して、メモリーカードを挿入しなおしてスケジュールが再生されるか確認してください。再生されない場合、メモリーカードが破損している可能性があります。別のパソコンなどで正しく動作するかを確認してください。メモリーカードにスケジュールデータがあるかどうか確認してください。メモリーカードに問題がなければスケジュールを再エクスポートしてください。</p>
<p><b>メモリーカードを確認してください。</b></p>	<p>&lt;メモリーカードが認識できない時、メモリーカードのデータが読めない時に表示&gt; エラー101 またはエラー102 を検出で再起動を 3 回繰り返した後に表示します。 - マウスをダブルクリックしてメニューを呼び出してからシャットダウンを実施してください。メモリーカードが破損している可能性があります。別のパソコンなどで正しく動作するかを確認してください。メモリーカードにスケジュールデータがあるかどうか確認してください。メモリーカードに問題がなければスケジュールを再エクスポートしてください。</p>

※ご注意：もし電源ランプが点灯したまま画面に何も表示されない現象が発生した場合は、電源ボタンを電源ランプが消えるまで長押ししてください。（約 10 秒）

もし電源ランプが消えなかったときは MP-02 の AC アダプターを抜き差しして電源を入れなおしてください。（[1.13](#) 参照）